

令和 2 年度決算に係る
定期監査資料

令和 3 年 7 月

西部総合事務所農林局

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	2頁
5	主な事業に関する調べ	4頁
6	収入証紙取扱調べ	9頁
7	現金の取扱状況	9頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	10頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	15頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	16頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	16頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	16頁
13	備品の処分状況調べ	16頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	16頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	事業別予算執行状況調べ (農林業振興課、地域整備課)	17頁
16	用地取得の状況調べ	29頁
17	登記の状況調べ	29頁
18	林業改良指導活動状況調べ	29頁
＜西部農業改良普及所に係る個別調書＞		
15	事業別予算執行状況調べ	31頁
16	農業改良普及事業	33頁
＜西部農業改良普及所大山普及支所に係る個別調書＞		
15	事業別予算執行状況調べ	43頁
16	農業改良普及事業	45頁
○	意見、要望等	なし

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和3年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	2.4.1 現 在	当該 年度	2.4.1 現 在	当該 年度	2.4.1 現 在	当該 年度	2.4.1 現 在	
定 員	4	4	57	58	0	0	61	62	
現 員	5	5	57	57	0	0	62	62	
過不足(△)	1	1	0	△1	0	0	1	0	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	2	3	5	6	0	0	7	9	事務員（一般） 2 監視員 2 監督補助員 1 森林保全巡視指導員 1 土地改良財産譲与促進員 1

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
西部総合事務所農林局 局長	木嶋 哲人	年	月	
		2	3	
副局長 兼 農林業振興課長	(兼) 前田 喜功	0	3	西部総合事務所県民福祉局 農商工連携子一△ 参事 中山間地域振興子一△ 参事
農林業振興課 林業振興室長	小林 宏志	0	3	
農林業振興課 課長補佐	大武 浩	1	3	
同	(兼) 近藤 寿代	0	3	西部総合事務所県民福祉局 農商工連携子一△ 課長補佐 中山間地域振興子一△ 課長補佐
同	(兼) 石田 郁夫	1	3	農業振興監生産振興課 課長補佐
同	保木本 二郎	1	3	
西部農業改良普及所 所長	天満 伊津美	0	3	
同次長 兼 課長補佐	(兼) 角脇 利彦	1	3	西部総合事務所県民福祉局 農商工連携子一△ 課長補佐 中山間地域振興子一△ 課長補佐
同 普及主幹	(兼) 長戸 竜志	0	3	農業振興監生産振興課 課長補佐
同	高取 等	0	3	
同	前田 英博	0	3	
同	高濱 俊一	4	3	
同	中村 博行	0	3	
西部農業改良普及所 大山普及支所 支所長	内海 健司	0	3	
西部農業改良普及所 大山普及支所 普及主幹	鷹見 敏彦	0	3	
同	(兼) 石倉 満	5	3	農業振興監生産振興課 課長補佐
同	澤田 寿和	0	3	
同	西村 光博	3	3	
同	(兼) 久重 祐彦	1	3	西部総合事務所県民福祉局 農商工連携子一△ 課長補佐 中山間地域振興子一△ 課長補佐
地域整備課 課長	山本 勇次	1	3	

地域整備課 参事	足立 誠	1	3	(通算3年3月)
地域整備課 課長補佐 兼 普及主幹	(兼) 奥羽 健司	0	3	西部総合事務所日野振興センター日野振興局 日野農業改良普及所 普及主幹 米子工事検査事務所 課長補佐
同	嘉田 伸久	3	3	
同 課長補佐 兼 普及主幹	(兼) 長谷 徳明	2	3	
同	(兼) 田中 浩二	0	3	米子工事検査事務所 課長補佐
同	(兼) 木山 淳	0	3	米子工事検査事務所 課長補佐 (通算1年3月)

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
がんばる農家プラン支援事業 (農林業振興課生産振興担当)	45,729				45,729
将来ビジョン	清浄な水と空気をはじめとした豊かな自然と先人の努力に育まれた梨やスイカ、和牛、カニさらには米、らっきょう、イチゴなど、世界に通じるブランド力を持った農林水産物が次々と生まれ、農林水産業の所得の向上につながっている。				
令和新時代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 ①農林水産業の活力増進				
政策項目	II しごとと新時代 ①農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・西部地区では、白ネギ、ブロッコリー、水稻を中心に自らが創意工夫して農業に取り組んでいる農業者が多く、市町村とともにそれらの意欲ある農業者等が作成した生産・流通に係る計画(以下、「プラン」という。)の認定及びプラン実現への支援を行い、元気な農業者等の育成と地域農業の振興及び活性化を目指す。

(イ) 事業の実施状況

- ・令和2年度は新たに14件のプランを認定し農業振興事業に取り組んだ。
- ・既認定を含めた20件のプランに基づき、機械・施設等の導入を支援した。

【主な取組内容】

- ・特産品目であるブロッコリーや白ネギの作付面積拡大に向けた取組
- ・集落営農による効率的な水稻栽培を目指す取組
- ・大型機械導入による経営安定と農業収益向上への取組
- ・中山間地域の遊休農地を活用したキャベツの周年栽培を行う取組
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、5名のプラン審査員と例年実施している現場視察は中止した。

がんばる農家プラン事業の実施状況

(金額：千円)

市町村名	令和2年度				主な事業内容	令和元年度			
	プラン認定数	事業実施数	事業費	県費		プラン認定数	事業実施数	事業費	県費
米子市	5	6	39,265	12,298	ねぎ収穫機、田植機	3	5	40,690	14,470
境港市	1	2	16,375	3,447	農業用倉庫、ねぎ用管理機	3	2	8,672	2,891
日吉津村	2	2	11,180	3,727	トラクター、田植機、大豆播種機	0	1	20,818	3,470
大山町	3	6	50,233	16,744	トラクター、作業場兼倉庫	4	6	32,129	10,709
南部町	0	2	14,127	4,709	コンバイン	1	2	11,674	3,891
伯耆町	3	2	14,333	4,804	乗用管理機、水稻乾燥調整機械	0	2	19,178	6,240
合計	14	20	145,513	45,729		11	18	133,161	41,671

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

特になし

ウ 成果及び効果

- ・農業者がプランを作成する際には農業改良普及所と連携して支援を行い、新たに14件のプランが認定された。
- ・プランの認定を受けた農業者は、個々の経営事情に応じて機械、施設を整備し(トラクター、作業場等)、作付面積を順調に拡大させ、経営の安定が図られている。
- ・農業者の離農や高齢化が進む中、親から子へ承継する際に、将来を見据えて規模拡大するとともに法人化を目指し、本事業を活用する農業者が増えてきている。

エ 課題

- ・市町村、農業改良普及所と連携し、新規のプラン認定者を増やし、地域振興をさらに進めていく必要がある。
- ・令和3年度の事業要望額が割当予算額を上回っており、事業の精査等予算管理が必要。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
ナラ枯れ対策事業	30,494	7,802			22,692
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

カシノナガクイムシによるナラ類樹木の枯損（ナラ枯れ）を抑制し被害まん延を防止するため、県が駆除事業を実施するとともに、市町村が実施する駆除事業に要する経費に対して助成する。特に、大山は、景観上重要であるため、大山山頂から半径10kmの範囲内を「重点対策区域」として定め、対策を行っている。

(イ) 事業の実施状況

令和2年度の主な実施内容

実施主体	カシナガトラップ		伐倒搬出		立木くん蒸	
	事業量 (基)	事業費 (千円)	事業量 (本)	事業費 (千円)	事業量 (本)	事業費 (千円)
鳥取県			44	1,220		
米子市					115	617
大山町	1,442	9,350	83	2,532	783	7,855
南部町					211	1,097
伯耆町			63	1,905	768	4,815
合計	1,442	9,350	190	5,657	1,877	14,384

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- 1 観光シーズンの景観と安全確保の観点から大山環状道路沿いのナラ枯れ被害木を早期に駆除できるよう市町、森林管理署、環境省と共通認識を図るとともに、市町に対する交付決定時期を早めた。
- 2 大山で植樹活動に取り組む「大山ブナを育成する会」と連携して、ナラ枯れ対策の実証モデルとして伯耆町大内の県有地内ナラ枯れ被害地でミズナラの伐採・萌芽更新・ブナ等の植樹活動を開始した。(活動期間：5年間)

ウ 成果及び効果

- 1 過年度からの駆除事業の継続によって、大山周辺の被害量は平成29年度をピークに一時は減少傾向にあったが、令和2年度は暖冬と夏場の少雨の影響により過去最大の被害量となる中、大山環状道路沿いにおける対策を優先することにより、観光シーズンの景観と通行の安全を確保できた。

(大山周辺のナラ枯れ被害の推移)

単位：本

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1,357	4,507	5,649	9,058	3,414	4,552	9,447

- 2 令和2年11月に伯耆町で開催された森林シンポジウムにおいて「大山ブナを育成する会」との連携によるナラ枯れ対策の取組みを紹介したところマスコミに取り上げられ、様々な取組みを組み合わせた実証の県民への周知につながった。また、この活動を契機として、令和3年3月には、有識者、行政、林業関係団体、大山に関わる民間団体を参加者とする「大山のナラ枯れを考えるワークショップ」が開催され、被害対策は継続して取り組む必要があるとの共通認識が図られた。

エ 課題

ナラ枯れ被害は沈静化に至っておらず、特に令和2年度は大山周辺での被害が増大するとともに高標高地及び日野郡への被害エリアの拡大がみられた。

このため、これまでの対策の効果検証を行い、最新の科学的知見を交えてナラ枯れ対策を練り直すことが必要となっている。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源
スマート農業総合推進対策事業 (株) 福成農園スマート農業実証コン ソーシアム (西部農業改良普及所)	-	-	-	-	-
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	-				
政策項目	-				

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・情報通信機器や最新鋭の機械・機器を活用した「スマート農業」により省力化・軽作業化を図るとともに、経験と勤に頼ってきた農業をデータに基づく安定した農業へ転換し、次世代の担い手確保と技術継承が可能な技術パッケージを確立する。
- ・スマート農業技術の費用対効果を見極め、スマート農業の普及を図る。



自動操舵システムを活用した白ネギの作付

(イ) 事業の実施状況

- ・水稲、白ネギを柱とする中山間地域水田複合経営の法人において、水稲、白ネギ、小麦、大豆を対象に、「農業のユニバーサルデザイン化」、「データの見える化」をテーマに実証を行った。
- ・水稲では、直進ガイダンスシステムによる代かき作業の均質化、直線キープ田植機による作業精度の向上、水位モニタリングシステムによる水管理時間の短縮、人工衛星を活用した生育診断とドローンによる追肥に取り組み、食味収量コンバインにより把握した圃場の実態をもとに翌年の作付計画を作成した。
- ・白ネギ・小麦・大豆では、自動操舵システムによるトラクター作業の精度の向上と効率化、白ネギでは、気象センサーによる病害発生予測システムの検証を行った。

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
無し 「令和2年度より実施」

ウ 主な成果及び効果

- ① 自動操舵システム：白ネギの植付け、溝切り、土寄せ作業を行い、入社1年目オペレーターの誤差が2cm以内に収まるなど、ベテラン並みの精度で作業が出来た(図1)。
- ② 直線ガイダンスシステム：水稲の代かき作業時間が、約10%短縮した。
- ③ 環境モニタリング：水位センサーの設置により、水稲の見回り回数が33%削減された(表1)。
- ④ 衛星画像診断：診断結果をもとに水稲の追肥を行った。診断時期の天候が悪いと画像診断できない点が課題として明確になった。
- ⑤ 病害発生予測システム：対照区でも予察した病気の発生が見られず効果確認ができなかった。

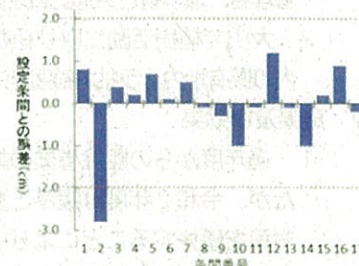


図1 各畝の設定条件との差
(入社1年目のオペレータ作業)

表1 遠隔地水田の水管理回数

場所	水管理回数(5月~9月)	
	導入前	2020年(導入後)
Fブロック	約68回	24回
Hブロック	約28回	8回

注) Fブロック：19ほ場3.1ha、センサー15基設置
Hブロック：11ほ場2.5ha、センサー11基設置

エ 課題

- ① 令和2年度は、実証機器の納入が遅れ、作業精度について十分な調査できなかった。令和3年度改めて経験の差と作業時間、作業精度について効果を実証する。
- ② 水位センサーでは、圃場の均平が不十分であったため効果確認が十分できなかった。令和3年度は、ほ場の均平化を図り、センサー設置場所の改善、コストに見合う設置台数の検討を行う。
- ③ 衛星画像診断では、適期の画像撮影を行い、ドローンに適した専用肥料の検討を行う。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
電動収穫台車の開発支援によるブロッコリー収穫作業の身体的負担軽減					
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

大山町はブロッコリー栽培が盛んな西日本有数の産地である(153戸、400ha)が、生産者の7割は60歳以上と高齢化が進んでいる。

現場では、生産者の多くが収穫作業に関する身体的負担を訴えており、収穫作業の負担が営農継続や規模拡大の隘路となっていた。これを踏まえ、普及所では小規模農家の営農継続や担い手農家の大規模化を図るため、収穫用台車を活用した場合の身体的負担の軽減対策及び電動収穫台車の開発について以下の取り組みを行った。

(イ) 事業の実施状況

①各作業における身体的負担の把握と共有

・ブロッコリーの各作業における身体的負担の状況を把握するため、生産者89名を対象に作業の問題点や改善点についてアンケート調査を実施し、生産部全体で身体的負担に係る認識の共有を図った。

②負担軽減に向けた組織づくりの支援

・JA及び生産部に負担軽減に向けたプロジェクトチームの発足を働きかけるとともに、人選や進め方について協議を行った。

・作業の負担軽減を検討するPT「名称：まめプロPT(まめでブロッコリー栽培を!)」(以下、「PT」)が生産者7名、JA及び普及所のメンバーで発足することとなり、普及所は事務局として活動を支援することとした(H30.1)。

③PTの運営及び電動台車の開発支援

・第1回PTで収穫台車の改良を最優先の取り組み事項と位置づけ、メーカーと協力しながら既存収穫台車の問題点の洗い出し、改善点の提案等を継続的に行うこととした。

・PTでは、デモ機を実際に使用し、問題点を洗い出し、それをメーカーに伝え、改善された試作機を再度使用するということを繰り返し行った。

・3度の試作機開発を経て、令和2年12月に大山町の実産者の意向を反映させた電動台車(大山町仕様)が完成した。



ほ場での検討会

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点特になし。

ウ 成果及び効果

(ア) 各作業における身体的負担の把握と共有

・普及所が実施したアンケートにより、生産者の約8割が収穫作業に身体的苦痛を感じていることが明らかとなり、収穫台車に関する問題点も多く挙げられた。

(イ) PTによる電動台車の開発

・生産部やJAと一緒にPTを発足させ、組織的に課題解決を図ることができた。

エ 課題

(ア) 電動収穫台車の導入の推進との負担軽減効果の把握と数値化

(イ) 当初のアンケート調査で明らかとなったその他の身体的負担作業の改善

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
地域ため池総合整備事業【地域整備課】	226,632	118,979	15,411	30,598	61,644
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

近年、大規模地震や異常気象ともいえる集中豪雨が頻発し、農地や農業水利施設だけではなく地域住民の生命や財産及び公共施設へも甚大な被害を及んでおり、効果的な防災・減災対策を講じる必要がある。

そのためには、農業用施設の整備状況や利用状況を把握し、地域の実情に即した総合的な整備により農村地域における防災力の向上を図ることが重要であり、自然的・社会的要因により生じたため池の機能の回復や災害の未然防止を図るための整備及びため池の監視・管理体制の強化、ハザードマップの作成による地域防災力の向上等ソフト事業により総合的な対策を実施する。

(イ) 事業の実施状況

①改修整備の優先度が高いため池

管内市町村	防災重点 ため池	実施予定(うち〇は完了地区)		備考
		改修工事	ハザードマップ	
米子市	41	2	22	
南部町	56	1	4	
伯耆町	19		3	
大山町	23		23	
日南町	15		5	
日野町	5		4	
江府町				
管内合計	159	3	61	

②R2年度中に実施中の地域ため池総合整備事業

地区名	所在地	受益面積	事業内容	備考
浅井	南部町浅井	8.3ha	ため池改修 一式	
古市	米子市吉谷	10.5ha	ため池改修 一式	
陰田	米子市陰田	4ha	ため池改修 一式	

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

防災重点ため池の耐震調査を実施して、地震災害に対する対策検討を行った。

ウ 成果及び効果

- 令和2年度は、浅井ため池(南部町)古市ため池(米子市)の耐震工事や陰田大池(米子市)の実施設計など行って、ため池の防災対策を図った。
- 管内の防災重点ため池のうち37箇所のハザードマップを作成。ワークショップの実施により避難場所、避難経路等災害時の避難行動を具体化し地域防災力の向上が図られた。

エ 課題

平成30年7月豪雨により農業用ため池に甚大な被害が発生し、これにより防災重点ため池の指定基準が見直された。管内市町でも新基準により防災ため池を見直し、33箇所から159箇所に増加した。

財政状況によりため池改修が進まない市町もあり、ハザードマップの作成が急務である。西部で最多のため池数の南部町を中心にハザードマップ作成を推進する必要がある。

6 収入証紙取扱調べ

該当なし

7 現金の取扱状況

該当なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	大淀地区畑地帯総合整備事業	米子市淀江町	292.85	-	増加	R-				R-	292.85	-	
					減少	R-				R-			
	五千石地区ほ場整備事業	米子市	2,465.97	-	増加	R-				R-	2,465.97	-	
					減少	R-				R-			
	箕牧屋地区用水改良事業	米子市・伯耆町・日吉津村	116,757.91	-	増加	R-				R-	116,757.91	-	
					減少	R-				R-			
	角盤新良路開工建設付帯事業	米子市尾高	3,471.07	-	増加	R-				R-	3,471.07	-	
					減少	R-				R-			
	箕牧屋地区ほ場整備事業	米子市淀江町	2,166.18	-	増加	R-				R-	2,166.18	-	
					減少	R-				R-			
	箕牧屋2期地区ほ場整備事業	米子市淀江町	376.36	-	増加	R-				R-	376.36	-	
					減少	R-				R-			
	淀江宇田川地区ほ場整備事業	米子市淀江町	2,217.20	-	増加	R-				R-	2,217.20	-	
					減少	R-				R-			
	大沢川被災家屋等復興特別対策事業(S30~39大沢排水改良事業)	米子市	10.95	-	増加	R-				R-	10.95	-	
					減少	R-				R-			
	深田川排水改良事業(中浜村外1町3ヶ村)	境港市	8,244.95	-	増加	R-				R-	8,244.95	-	
					減少	R-				R-			
	深田川地区排水特別事業	境港市	5,940.06	-	増加	R-				R-	5,940.06	-	
					減少	R-				R-			
	会見地区土地改良総合整備事業	西伯郡南部町	125.95	-	増加	R-				R-	125.95	-	
					減少	R-				R-			
	馬場地区ため池等整備事業	西伯郡南部町	222.00	-	増加	R-				R-	222.00	-	
					減少	R-				R-			
	大山地区(下横原工区)開工建設付帯事業	西伯郡伯耆町	591.74	-	増加	R-				R-	591.74	-	
					減少	R-				R-			
	佐野川地区かんがい排水事業	西伯郡伯耆町	9,428.50	-	増加	R-				R-	9,428.50	-	
					減少	R-				R-			
	五千石井手地区かんがい排水事業	西伯郡伯耆町	22.30	-	増加	R-				R-	22.30	-	
					減少	R-				R-			
中山2期地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町	11,539.68	-	増加	R-				R-	11,539.68	-		
				減少	R-				R-				
中山地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町	581.28	-	増加	R-				R-	581.28	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(中横原工区)開工建設付帯事業	西伯郡大山町	1,515.00	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R2.7.30	1,515.00	-	用途廃止	R-				
上中山第2地区開拓整備事業	西伯郡大山町	650.00	-	増加	R-				R-	650.00	-		
				減少	R-				R-				
庄内村外3ヶ村用水改良事業	西伯郡大山町	390.08	-	増加	R-				R-	390.08	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(下大山工区)開工建設付帯事業	西伯郡大山町	102.41	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R2.7.30	102.41	-	用途廃止	R-				
大山地区(光徳工区)開工建設付帯事業	西伯郡大山町	1,252.89	-	増加	R-				R-	1,252.89	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(名和庄内門前工区)開工建設付帯事業	西伯郡大山町	428.80	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R2.7.30	428.80	-	用途廃止	R-				
大山地区(逢坂工区)開工建設付帯事業	西伯郡大山町	6,169.00	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R2.7.30	6,169.00	-	用途廃止	R-				

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	名和地区ほ場整備事業	西伯郡大山町	472.04	-	増加	R				R	472.04	-	
					減少	R				R			
	爪地区ため池災害関連特別対策事業	西伯郡大山町	60.90	-	増加	R				R	60.90	-	
					減少	R				R			
	大山北部土地改良総合整備事業	西伯郡大山町	899.05	-	増加	R				R	899.05	-	
					減少	R				R			
	庄内地区ほ場整備事業	西伯郡大山町	105.00	-	増加	R				R	105.00	-	
					減少	R				R			
	江尾・宮市地区ほ場整備事業	日野郡江府町	4,594.80	-	増加	R				R	4,594.80	-	
					減少	R				R			
	美用地区担い手育成基盤整備事業	日野郡江府町	2,192.64	-	増加	R				R	2,192.64	-	
					減少	R				R			
	江府地区農村災害対策整備事業	日野郡江府町大字貝田字上小林675-3	23.43	-	増加	H28.3.8	32.46	-	錯誤	R	55.89	-	
					減少	R				R			
	中山3期地区畑地総合整備事業	西伯郡大山町羽田井字退休寺原1418-878	1,975.63	-	増加	R				R	1,975.63	-	
					減少	R				R			
	名和3期地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町長野中尾ノ木880-4	39.45	-	増加	R				R	0.00	-	
					減少	H29.5.16	39.45	-	用途廃止	R			
	果実農村災害対策整備事業	日野郡江府町小江尾	32.46	-	増加	R				R	0.00	-	
					減少	H28.3.8	32.46	-	錯誤	R			
	春日地区農免農道	米子市古豊千	13.96	-	増加	R				R	13.96	-	
					減少	R				R			
	大山第2地区広域農道	日野郡江府町・西伯郡伯耆町	408,561.39	-	増加	R				R	390,177.48	-	
減少					R3.3.12	18,383.91	-	用途廃止	R				
淀江地区農免農道	米子市淀江町	27,030.54	-	増加	R				R	27,030.54	-		
				減少	R				R				
大山地区広域農道	西伯郡大山町	410,352.78	-	増加	R				R	410,352.78	-		
				減少	R				R				
西伯地区広域農道	西伯郡伯耆町・南部町	132,267.36	-	増加	R				R	132,267.36	-		
				減少	R				R				
淀江2期地区農免農道	米子市淀江町	39,226.63	-	増加	R				R	39,226.63	-		
				減少	R				R				
奥日野地区広域農道	日野郡日南町	538,738.68	-	増加	R				R	538,738.68	-		
				減少	R				R				
西伯地区ふるさと農道緊急整備事業(広域型)	西伯郡伯耆町	185.00	-	増加	R				R	185.00	-		
				減少	R				R				
奥日野地区ふるさと農道緊急整備事業(広域型)	日野郡日南町	12,804.63	-	増加	R				R	12,804.63	-		
				減少	R				R				
淀江地区3期地区農免農道	米子市淀江町	82,101.33	-	増加	R				R	82,101.33	-		
				減少	R				R				
計			1,836,640.83	-			△ 26,638.57	-		1,810,002.26	-		

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
普通財産	彦名干拓地暫定調整池跡地及び東側堤防	米子市	7,280.62	-	増加	R-				R-	7,280.62	-	貸付
					減少	R-				R-			
	名和地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町門前	10,441.95	-	増加	R-				R-	10,441.95	-	
					減少	R-				R-			
	名和3期地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町長野中弓ノ木880-4	0.00	-	増加	H29.5.16	39.45		分類換	R-	39.45	-	
					減少	R-				R-			
	大山地区(二本松工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	3,821.49	-	増加	R-				R-	0.00	-	
					減少	R2.1.15	3,821.49	-	処分	R-			
	大山地区(萩原工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	1,082.91	-	増加	R-				R-	0.00	-	
					減少	R2.1.15	1,082.91	-	処分	R-			
	大山地区(神田工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	3,460.00	-	増加	R-				R-	0.00	-	
					減少	R2.1.15	3,460.00	-	処分	R-			
	大山地区(大都工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	710.00	-	増加	R-				R-	0.00	-	
					減少	R2.1.15	710.00	-	処分	R-			
	大山地区(中模原工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R2.7.30	1,515.00	-	分類換	R-	1,515.00	-	
					減少	R-				R-			
	大山地区(下大山工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R2.7.30	102.41	-	分類換	R-	102.41	-	
					減少	R-				R-			
大山地区(名和庄内門前工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R2.7.30	428.80	-	分類換	R-	428.80	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(逢坂工区)開かん建設付帯事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R2.7.30	6,169.00	-	分類換	R-	6,169.00	-		
				減少	R-				R-				
大山第2地区広域農道	日野郡江府町、西伯郡伯耆町	0.00	-	増加	R3.3.12	18,383.91		分類換	R-	18,383.91	-		
				減少	R-				R-				
計			26,796.97	-			17,564.17			44,361.14	-		
合計			1,863,437.80	-			△ 9,074.40			1,854,363.40	-		

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通 財産の区 分	機関又は 施設名等	所 在 地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備 考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額 (円)	増減理 由	登 記 年月日	面積 (m ²)		価額(円)
行政財産	大山農業改良普及 所(事務所)	大山町所子541-8	290.31	88,991,700	増加	R -				R -	290.31	88,991,700	
					減少	R -				R -			
	大山農業改良普及 所(田植機庫)	大山町所子541-8	22.50	3,189,900	増加	R -				R -	22.50	3,189,900	
					減少	R -				R -			
計			312.81	92,181,600			-	-		312.81	92,181,600		
普通財産	-	-	-	-	増加	R -				R -	-	-	
					減少	R -				R -			
計			-	-			-	-		-	-		
合計			312.81	92,181,600			-	-		312.81	92,181,600		

ウ 山林 該当なし

エ 動産 該当なし

オ 物権

(令和3年3月31日現在)

区 分	前年度末(m ²)	本年度中(m ²)		本年度末(m ²)	登記又は 登録年月日	備 考
		増	減			
地上権	4,174.96	0.00	0.00	4,174.96	H13.6.25~ H20.1.8	S30~39大 沢川排水改 良事業
	79.00	0.00	0.00	79.00	H28.2.9、H29.1.16	中山3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
	210.66	0.00	0.00	210.66	H28.9.12~ H29.1.5	名和3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
	53.77	0.00	0.00	53.77	H29.4.27	中山3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
	124.85	0.00	0.00	124.85	H30.7.24、H30.10.18	名和3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
合 計	4,643.24	0.00	0.00	4,643.24		

カ 無体財産権 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況 有

(令和3年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はが き	円 15,735	円 860	円 10,053	円 6,542	大山普及支所
収入印紙	53,800	0	7,800	46,000	
収入証紙				0	
タクシークーポン券				0	
鉄道バスプリバードカード				0	
合 計	69,535	860	17,853	52,542	

イ タクシーチケットの保有状況 該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町下甲1041-521	電柱1本	H27.1.15	H22.11.15	R2.4.1 ~R7.3.31	月額・年額 180	180	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 19-00283535
	電力供給配電線支持物設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-443・448・219	共架柱3本 支線2条	H28.2.18	H23.11.25	R3.4.1 ~R8.3.31	月額・年額 900	900	米子市加茂町2丁目51 中国電力ネットワーク(株)米子ネットワークセンター	文書ID 20-00272148
	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-1759・1784・1749・1748	電柱4本	H28.2.9	H23.11.28	R3.4.1 ~R8.3.31	月額・年額 720	720	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 20-00254379
	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井字観国地内	電柱5本	H29.1.30	H24.11.21	H29.4.1 ~H34.3.31	月額・年額 900	900	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00001793
	電力供給配電線支持物設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-1795	電柱1本	H29.2.10	H24.11.28	H29.4.1 ~H34.3.31	月額・年額 180	180	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 18-00001793
	地籍図根三角点設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-1851	図根三角点1本	H26.7.31	H26.7.31	H31.4.1 ~R6.3.31	月額・年額 免除	免除	西伯郡大山町御来屋328 大山町長	文書ID 18-00344686
	電力供給配電線支持物設置のため	西伯郡大山町下甲1041-657、621	電柱1本 支線1条	H26.12.9	H26.12.9	H31.4.1 ~R6.3.31	月額・年額 360	360	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 18-00316366
	電気通信設備設置のため	米子市赤井手153-2,154-1	電柱2本	H28.3.16	H28.3.16	R2.4.1 ~R7.3.31	月額・年額 360	360	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 19-00283725
	電気設備設置のため	米子市赤井手153-2,154-1	電柱2本 (共架設備)	H28.3.16	H28.3.16	R2.4.1 ~R7.3.31	月額・年額 3,000	3,000	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 19-00286618
	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-448、1418-1795	電柱3本 (共架設備)	H29.3.10	H29.3.10	R.3.4.1 ~R8.3.31	月額・年額 6,000	6,000	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 20-00254339
電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1041-667	電柱1本 (共架設備)	H29.3.10	H29.3.10	H31.4.1 ~R6.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00287682	
計							14,100			
普通財産	米子水鳥公園と農地との緩衝帯・駐車場として使用するため	米子市彦名新田664及び東側盛土	土地7,280.82㎡ 盛土:高さ2.8m・延長348m	H25.4.1	H24.4.1	H25.4.1 ~H35.3.31	月額・年額 35,820	35,820	米子市加茂町1丁目1 米子市長	文書ID 18-00002552
計							35,820			
合計							49,920			

イ 建物

該当なし

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

12 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

13 備品の処分状況調べ

(令和3年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分					備考
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額	処 分 費 用	
会議机他	1995. 3. 8他	2020. 6. 9	棄却	耐用年数を経過し修理不能	2020. 6. 9	- 円	- 円	
土壌・作物体 総合分析計	1992. 11. 16	2021. 2. 17	棄却	耐用年数を経過し修理不能	2021. 3. 30	- 円	- 円	
合 計								

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

① 有 ・ 無

物品損傷報告データベースにより報告済。(公用車一部損傷6件)

(2) 物品確認の実施状況

① 有 ・ 無

農林業振興課

(生産・経営・林業)

1.5 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (農林業振興課生産流通担当)	事業の概要(目的、実績等)	
がんばる農家プラン事業	農業者等が作成したプランを実現するために必要な事業に対して、市町村が助成を行う場合に、要する経費を助成した。(農業者等がプランを実現するための支援:機械、施設等導入20件)	
中山間地域を支える水田農業支援事業	中山間地域で水田農業を支える農業者育成や地域の水田農業の維持・発展を図ることを目的とする事業に対して、市町村が助成を行う場合に、要する経費を助成した。(伯耆町1件)	
もうかる6次化・農商工連携支援事業	農業者等が作成した6次産業化のプランを実現するために必要な事業に対して、市町村が助成を行う場合に要する経費を助成した。(米子市1件、伯耆町1件)	
県産農林水産物需要拡大・加工事業者経営回復対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している県産農林水産物の需要回復と食品加工業者の経営回復を図るために、県産農林水産物を取り扱う食品加工業者が取り組む対面によらない販売促進を支援し、非対面型の商談及び販売、販売促進に必要な経費を助成した。(HP作成委託費、広告費等5件)	

目 名	農作物対策費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (農林業振興課生産流通担当)	事業の概要(目的、実績等)	
鳥獣被害防止総合対策交付金	野生鳥獣による農林被害を防止することを目的とし、侵入防止柵や捕獲機材の整備、捕獲に係る経費を助成した。(米子市、大山町、南部町、伯耆町)	
鳥獣被害総合対策事業	野生鳥獣による農産物への被害を防止することを目的に、侵入防止柵の整備、捕獲に係る経費を助成した。(米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町)	
鳥取梨生産振興事業	鳥取県育成オリジナル梨(新品種)等の導入について、苗木や基盤整備に係る経費に対して助成した。(米子市、大山町、南部町)	
鳥取柿ぶどう等生産振興事業	富有柿をはじめとした果樹の優良品種の導入について、苗木や基盤整備に係る経費に対して助成した。(米子市、南部町)	
園芸産地活力増進事業	園芸品目生産拡大に必要な機械・資材の導入に係る経費に対して助成した。2件(米子市1件、日吉津村1件)	
戦略的園芸品目(白ネギ)総合対策事業	白ネギの産地づくりを加速化させることを目的に、弓浜地区のネギ黒腐菌核病の防除対策、展示ほの設置、機械の導入に係る経費を助成した。7件(米子市1件、境港市1件、大山町2件、南部町1件、伯耆町1件、JA鳥取西部1件)	
戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業	県育成のオリジナル新品種「とっておき」の単収・品質向上、販売促進及び生産基盤強化に必要な機械、施設の導入に係る経費を助成した。2件(米子市1件、南部町1件)	
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	ブロッコリーの生産拡大を目的に、国事業の産地生産基盤パワーアップ事業を活用して、県が開発した鳥取型低コストハウスの導入に係る経費を助成した。(大山町)	
鳥取県産地生産基盤パワーアップ事業	ブロッコリーの生産拡大を目的に、国事業の産地生産基盤パワーアップ事業を活用して、育苗資材に係る経費を助成した。(大山町)	

事業名 (農林業振興課生産振興担当)	事業の概要(目的、実績等)
鳥取和牛振興総合対策事業	<p>○子牛導入支援対策、高能力子牛特別導入支援 「鳥取和牛オレイン55」のブランド化を図るため、オレイン産能力の高い県内外産繁殖用雌子牛および肥育素牛の導入支援を行った。また県内種雄牛「白鵬85の3」「百合白清2」の産子である繁殖用雌子牛および肥育素牛を導入する場合は、特別に鳥取和牛振興戦略基金を上乗せし、支援を行った。 (J A 鳥取西部 繁殖用雌子牛導入9頭、肥育素牛導入11頭(うち特別導入支援4頭))</p> <p>○担い手の増頭に対する緊急支援 子牛価格が高騰する中、優秀な血統の繁殖用雌牛を確保するため、和牛繁殖農家に対し、雌牛の導入支援を行った。 (米子市4戸35頭、大山町11戸69頭、南部町3戸6頭、伯耆町8戸39頭)</p>

15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)	事業の概要(目的、実績等)	
新規就農者総合支援事業	<p>新規就農者の確保・育成のため、就農希望者が円滑に就農できるよう就農相談や諸計画策定等の支援を行うとともに、就農初期の生産基盤整備等営農に必要な経費を支援し、新規就農者のニーズにあわせた段階的な支援を行った。</p> <p>◆就農条件整備事業 新規参入者(認定就農者等)が就農する際、機械、施設の整備の支援(5市町14件)を行った。</p> <p>◆就農応援交付金 新規参入者(認定就農者等)が就農する際、用途を定めない運転資金の支援(3市町3名)を行った。</p> <p>◆親元就農促進交付金 認定農業者等の後継者が親(3親等以内の親族を含む)の経営に従事しながら、親元で研修を行う場合に研修助成(5市町村14名)を行った。</p>	
鳥取県集落営農体制強化支援事業	<p>◆機械施設整備支援 組織運営の規約を定めた集落営農組織が、集落営農の基本方針、機械施設の整備方針及び地区内の水田面積の過半を農業用機械の共同利用または作業受託で集積する目標を定めた集落ビジョンを策定し、そのビジョンに沿って実施する農業用機械及び付帯施設の導入支援(3市町4組織)を行った。</p>	
担い手確保・経営強化支援事業	<p>「人・農家プラン」が作成されており、担い手への農地の集積・集約化を進めている地区において、売上高の10%以上の拡大や経営コストの10%以上の縮減などに意欲的に取り組む地域の担い手に農業用機械等の導入の支援を行った。 (大山町2件、南部町1件)</p>	

目 名	金融対策費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業経営基盤強化資金利子補助金	<p>農業経営基盤強化資金を借り受けた農業者の利子負担軽減のため、市町に対して利子補助を行った。(境港市、大山町、南部町、伯耆町)</p>	

目 名	農地調整費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)	事業の概要(目的、実績等)	
農地集積総合推進事業	<p>◆農業委員会費 農地法その他の法令により、その所掌に属する法令業務及び優良農地の確保、農地の有効利用、認定農業者等の担い手対策等の業務を行う市町村農業委員会及び県農業会議の活動を支援した。 また、農地法、農振法等に基づく許認可事務を行った。 ・農地法第4～5条の許認可事務等 ・農振法における市町村整備計画の変更事務等</p>	

15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県版緑の雇用支援事業	林業担い手を育成・確保するため、林業事業者が行う新規就労者に対するOJT研修の経費に対して助成した。 トライアル雇用研修1人(1事業者) 未来を担う林業人材育成研修:新規就労者1人(1事業者)	

目 名	林業振興費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
森林整備地域活動支援交付金等	森林経営計画の作成を促進するため、市町村と協定を締結し、森林経営計画の作成等を行った森林所有者等に対し、市町村が交付金を交付するのに要する経費及び市町村推進事務費に対して助成した。 森林経営計画作成促進:3市町、市町村推進事務:1町	
森林整備担い手育成対策事業	林業労働者を育成・確保するため、林業労働者の免許取得、社会保険料掛金、安全衛生技能講習及び安全確保装備・器具等購入に要する経費に対して助成した。 技術習得支援事業:研修生1人(1事業者) 木材運搬等効率改善事業(大型免許取得):労働者1人(1事業者) 社会保険料掛金助成事業:労働者6人(3事業者) 安全衛生技能講習支援事業:労働者2人(1事業者) 安全・安心を確保するための装備・器具等購入費助成事業:112個(3事業者)	
鳥取県間伐材搬出促進事業	適正な森林の保全・整備、木材の有効利用を図るため、間伐材の搬出に要する経費に対して助成した。 6,320m ³ (4事業者)	
鳥取県林業再生事業	森林集約化の促進、素材生産性の向上、素材生産コストの低減、労働環境の改善を促し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と森林資源の有効利用及び林業従事者の安定的な確保を図ることを目的として、高性能林業機械等の整備及びリース導入並びに林業路網整備に要する経費に対して助成した。 低コスト林業機械整備・リース等支援:整備1台(1事業者)、リース4台(2事業者) 林業路網整備:1路線(1事業者)	
木材産業人材育成推進事業	木材産業事業者の就業者の育成・確保を図るため、講習の受講や資格の取得等の経費に対して助成した。 資格習得支援事業:就業者5人(3事業者)	
きのこ王国とっとり推進事業	原木しいたけ等の生産体制の整備、販売戦略の実施、原木の安定確保を行う生産者等の取組を支援し、きのこ王国ととりの実現を推進するため、生産者等が原木及び種菌の調達に要する経費に対して助成した。 生産拡大支援事業:生産者(個人・団体)4者 安全労働確保支援:生産者1人	
みんなで取り組む山間地きのこ生産モデル事業	山間地で新たに原木椎茸生産に参入する集落営農組織を支援するため、栽培を開始するために必要な施設及び機械・器具設備の整備に要する経費に対して助成した。 実施者1組織(低コストハウス1棟、乾燥機1台)	

鳥取県森林環境保全税 関連事業	森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成及び森林環境の保全・整備を図るため、ボランティア団体等が行う森林体験企画及び市町村と協定を締結したNPO等が行う放置竹林の整備の実施に要する経費に対して助成した。 とっとり県民参加の森づくり推進事業：5団体、 竹林整備事業：7カ所（2町）
--------------------	--

目 名	森林病虫害防除費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
松くい虫等防除事業	<p>松くい虫被害の拡大を防止し重要な松林を保全するため、また、カシノナガキクイムシによるナラ類樹木の被害を防止するため、県が駆除事業等を行うとともに、市町村の行う駆除事業及び予防事業に要する経費に対して助成した。</p> <p>松くい虫等防除事業： 特別防除708ha（3市町）、地上散布4ha（2町村）、樹幹注入1,119本（県）、緊急防除75m³（2町）、伐倒駆除・特別伐倒駆除323m³（4市町、県）</p> <p>政令指定森林病虫害等防除事業： カシナゴトラップ1,442基（1町）、立木くん蒸1,877本（4市町）、伐倒駆除190本（2町、県）</p>	

目 名	造林費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
造林事業	<p>森林資源の充実、健全な育成及び森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、市町村、森林組合等の実施する森林整備に要する経費に対して助成した。</p> <p>森林環境保全直接支援事業：下刈9.96ha、除伐6.02ha、保育間伐8.93ha、間伐44.88ha、枝打0.26ha、森林作業道5,785m</p> <p>特定森林再生事業：下刈20.59ha</p>	
造林事業（衛生伐）	<p>松くい虫被害の拡大を防止し重要な松林を保全するため、県が駆除事業を行った。</p> <p>衛生伐：伐倒駆除・特別伐倒駆除111m³</p>	
中山県営採種穂圃維持 管理事業	<p>県営採種穂圃の維持管理作業を行った。</p> <p>下刈3.8ha、薬剤散布1,086本</p>	

目 名	治山費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
治山事業	<p>保安林の機能の維持及び回復のため、保育作業を行った。</p> <p>保育事業：下刈13.14ha、つる切り0.61ha、補植1,040本</p>	

目 名	保育事業費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
県営林事業	<p>大山町内の県営林において松くい虫防除のための農薬散布を行った。</p> <p>地上散布7.6ha</p>	

目 名	管理事業費	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県営林事業	<p>県有林及び県有林内林道の維持管理作業並びに県行造林地の立木調査を行った。</p> <p>弓ヶ浜県有林維持管理等業務：折損枝除去1式、緊急処理1式、本数調整伐90本、除草5,989㎡、枝条搬出59m³</p> <p>林道大平線維持管理業務：除草7,436㎡、側溝清掃50m³、緊急処理1式</p> <p>立木調査：1カ所</p>	

目 名	造林費(明許)	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
造林事業	<p>森林資源の充実、健全な育成及び森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、市町村、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。</p> <p>森林環境保全直接支援事業：下刈0.27ha、保育間伐14.64ha、間伐18.45ha、枝打0.90ha、森林作業道4,092m</p>	

目 名	治山費(明許)	(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
治山事業	<p>保安林の機能の回復のため、植栽等を行った。</p> <p>保安林緊急改良事業：植栽0.07ha、防風工63m、土工71m³</p>	

地域整備課

15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農地総務費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
管理体制整備計画策定費事業(県営事業)	農業水利施設の管理について、受益農家だけでなく多面的機能を楽しむ地域住民とも協働して、地域として達成可能な管理水準や管理体制等の具体的目標を定める。 ※米川地区、大山山麓地区	
管理体制整備促進事業補助金事業(団体営事業)	農業水利施設の管理に関して、土地改良区が行う地域住民との管理体制づくり(管理体制整備推進協議会の開催、農家や地域住民に対する啓発活動等)に要する経費、並びに施設維持管理費のうち多面的機能に資するための管理費相当分(維持管理費の37.5%)について助成した。※米川地区、大山地区	
基幹水利施設管理事業補助金	国営大山山麓総合農地開発事業で造成された下蚊屋ダムについて、維持管理費の一部を助成した。※大山山麓地区	
しっかり守る農林基盤交付金事業	市町村が実施する農林業生産基盤の整備及び補修、放置ため池や山腹水路等の防災措置並びに小規模な災害復旧を支援した。	
大沢川管渠点検診断調査事業	大沢川埋設管L=1, 779mにおいて、大沢川暗渠排水路被害者連絡協議会長との覚書により管路の安全性を確認するため、埋設管の内部を安全点検(毎年1回)を行った。	
米子市弓浜地区の荒廃農地再生活用推進事業	米子市の荒廃農地が集中している弓浜地区において、米子市と共同し農地耕作条件改善事業等の各施策を活用して荒廃農地を優良農地に整備し、担い手への集積を支援した。	

目 名	土地改良費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
農地法面管理省力化対策事業	センチピードグラスによる農地法面管理省力化のPRほ場を設置するため、ほ場への種子吹付を実施と併せて、吹付前後の除草等の法面管理作業を関係農家に委託した。	
県営土地改良事業(譲与促進費)	土地改良財産譲与促進員を雇用し、譲与の促進を図った。	
畑地帯総合整備事業	国営大山山麓総合農地開発事業の関連事業として中山2期地区、名和2期地区、中山3期地区および名和3期地区の畑地かんがいの施設整備を実施した。	
経営体育成基盤整備事業	優良農地の確保・生産性の向上を図り、地域の意欲ある担い手への農地集積を加速化し、農業競争力の強化を目的とした未整備田の整備等を行った。	
県営農業生産基盤整備事業調査	老朽化した農業水利施設の機能診断を実施するとともに、水利用・水管理の効率化・省力化、水利施設の安全性向上を行うための対策検討を実施した。	
県営土地改良事業調査	県営土地改良事業実施に必要な諸条件について、調査・計画・設計を行い、実施計画を策定した。	
農地集積加速化農地整備事業	担い手への農地集積を加速化するため、農地中間管理機構が借入れているまとまった農地について、所有者への費用負担を求めない区画整理等を実施した。	
農業体質強化基盤整備促進支援事業	担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るために、市町村等が実施する農地や農業水利施設の整備を支援した。	
団体営農業水利施設保全高度化事業	市町村が実施するきめ細やかな農業水利施設整備等に伴う長寿命化対策、管理省力化対策のほか、機能保全計画の策定を支援した。	

農山漁村地域整備交付金	県営事業で整備を行った農道について、橋梁やトンネル等施設の点検診断による安全度評価の実施、また、農道の機能保全対策面として更新整備及び機能強化対策面から機能保全対策、通行の安全確保を支援した。
基幹水利施設ストックマネジメント事業	土地改良事業によって造成された農業用排水路等の基幹水利施設について、施設の劣化状況等を調べる機能診断を行い、その診断結果に基づいて施設の機能を保全するために必要な対策手法等を定めた計画に基づく対策工事により施設の長寿命化を図った。

目 名	農地防災事業費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
ため池防災減災対策推進事業	ため池の決壊における浸水想定図等をもとに関係農民によるワークショップを実施し、万一の場合の初動作業や避難ルートの検討を行うことにより、地元に着したハザードマップを作成し、ため池災害の被害低減を図った。	
県営地域ため池総合整備事業	人命、人家若しくは公共施設等に被害を及ぼす災害発生恐れがある場合に、早急に整備を要するため池の改修を、農村地域防災減災計画に基づき実施した。	
県営農業用河川工作物応急対策事業	構造が不相当又は不十分なため、前後一連の区間に比較してその治水機能が劣っている河川工作物または施設周辺に主要道路、鉄道又は人家等があり、地震による被害が生じた場合に人命・財産等での影響が大きい水路橋の安全を確保し、災害の未然防止を図った。	
県営たん水防除事業	農業用排水路において、施設の老朽化による損傷により、排水断面の阻害による洪水時の農地及び公共施設の湛水被害や、それに起因する農業用施設等の損傷による重大事故を未然に防ぐため、排水路の改修を行った。	
県営農地防災事業調査	自然的、社会的要因で生じた農業用施設等の機能低下の回復を行うための減災・防災マスタープランや施設の安全度評価、整備計画に必要な調査を行った。	
県営たん水防除事業	農業用排水路において、施設の老朽化による損傷により、排水断面の阻害による洪水時の農地及び公共施設の湛水被害や、それに起因する農業用施設等の損傷による重大事故を未然に防ぐため、排水路の改修を行った。	

目 名	耕地災害復旧事業費	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
耕地災害復旧事業	平成30年、令和元年、令和2年度に発生した災害の復旧事業に対して補助金を交付し、事業の促進を図った。	

目 名	農地総務費(明許)	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
しっかり守る農林基盤交付金事業	市町村が実施する農林業生産基盤の整備及び補修、放置ため池や山腹水路等の防災措置並びに小規模な災害復旧を支援した。	
大沢川管渠点検診断調査事業	大沢川埋設管L=1,779mにおいて、大沢川暗渠排水路被害者連絡協議会長との覚書により管路の安全性を確認するため、埋設管の内部を安全点検(毎年1回)を行った。	

目 名	土地改良費（明許）	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要（目的、実績等）	
畑地帯総合整備事業	国営大山山麓総合農地開発事業の関連事業として中山2期地区、名和2期地区、中山3期地区および名和3期地区の畑地かんがいの施設整備を実施した。	
経営体育成基盤整備事業	優良農地の確保・生産性の向上を図り、地域の意欲ある担い手への農地集積を加速化し、農業競争力の強化を目的とした未整備田の整備等を行った。	
県営農業生産基盤整備事業調査	老朽化した農業水利施設の機能診断を実施するとともに、水利用・水管理の効率化・省力化、水利施設の安全性向上を行うための対策検討を実施した。	
県営土地改良事業調査	県営土地改良事業実施に必要な諸条件について、調査・計画・設計を行い、実施計画を策定した。	
農地集積加速化農地整備事業	担い手への農地集積を加速化するため、農地中間管理機構が借入れているまとまった農地について、所有者への費用負担を求めない区画整理等を実施した。	
農業体質強化基盤整備促進支援事業	担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るために、市町村等が実施する農地や農業水利施設の整備を支援した。	
団体営農業水利施設保全高度化事業	市町村が実施するきめ細やかな農業水利施設整備等に伴う長寿命化対策、管理省力化対策のほか、機能保全計画の策定を支援した。	
基幹水利施設ストックマネジメント事業	土地改良事業によって造成された農業用排水路等の基幹水利施設について、施設の劣化状況等を調べる機能診断を行い、その診断結果に基づいて施設の機能を保全するために必要な対策手法等を定めた計画に基づく対策工事により施設の長寿命化を図った。	

目 名	農地防災事業費（明許）	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要（目的、実績等）	
県営地域ため池総合整備事業	人命、人家若しくは公共施設等に被害を及ぼす災害発生のおそれがある場合に、早急に整備を要するため池の改修を、農村地域防災減災計画に基づき実施した。	
県営農業用河川工作物応急対策事業	構造が不適当又は不十分なため、前後一連の区間に比較してその治水機能が劣っている河川工作物または施設周辺に主要道路、鉄道又は人家等があり、地震による被害が生じた場合に人命・財産等での影響が大きい水路橋の安全を確保し、災害の未然防止を図った。	
県営たん水防除事業	農業用排水路において、施設の老朽化による損傷により、排水断面の阻害による洪水時の農地及び公共施設の湛水被害や、それに起因する農業用施設等の損傷による重大事故を未然に防ぐため、排水路の改修を行った。	
県営農地防災事業調査	自然的、社会的要因で生じた農業用施設等の機能低下の回復を行うための減災・防災マスタープランや施設の安全度評価、整備計画に必要な調査を行った。	
ため池防災減災対策推進事業	ため池の決壊における浸水想定図等をもとに関係農民によるワークショップを実施し、万一の場合の初動作業や避難ルートの検討を行うことにより、地元に着したハザードマップを作成し、ため池災害の被害低減を図った。	

目 名	耕地災害復旧事業費（明許）	(令和3年5月31日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要（目的、実績等）	
耕地災害復旧事業	令和元年度に発生した災害の復旧事業に対して補助金を交付し、事業の促進を図った。	

16 用地取得の状況調べ

該当なし

17 登記の状況調べ

(1) 登記の状況

(令和3年3月31日現在)

取得年度	取得筆数 A	前年度末 登記筆数 B	本年度 登記筆数 C	本年度末 未登記筆数 A-B-C	登記率 (B+C)/A×100	備考
	筆	筆	筆	筆	%	
28年度以前	8,479	8,190	2	287	96.7	
29年度	0	0	0	0	0	
30年度	1	1	0	0	100	
元年度	0	0	0	0	0	
2年度	0	0	0	0	0	

(注) 本年度において、前年度以前の事業にかかる未登記の発生があった場合は、本年度の取得筆数に含めて記入すること。

(2) 未登記の解消状況

(令和3年3月31日現在)

区 分	前年度末 未登記筆数 A	本年度 解消筆数 B	本年度末 未登記筆数 A-B	解消理由
土地区画整理区分を除く	194	2	192	国土調査による
土地区画整理分	95	0	95	
計	289	2	287	

18 林業改良指導活動状況調べ

該当なし

西部農業改良普及所

1.5 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業総務費	(令和3年5月31日現在)																		
事業(活動)名 (西部農業改良普及所)	普及活動の概要(目的、実績等)																			
新規就農総合支援事業	<p>就農から就農後5年目までの新規就農者28名に対して就農支援制度の情報提供、研修計画と経営計画の作成を支援した。あわせて基礎的な栽培技術、経営管理についても指導し、早期の栽培技術の向上とそれに伴う所得向上につなげた。また、新規就農者のうち3名に対して、就農・くらしアドバイザー(1名)を設置し、地域への定着を支援した。</p> <p>表 過去5年間の新規就農者(就農から5年目までの農業者)(単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者</td> <td>46</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>うち当年</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		項 目	H28	H29	H30	R1	R2	新規就農者	46	43	43	35	28	うち当年	6	4	7	5	6
項 目	H28	H29	H30	R1	R2															
新規就農者	46	43	43	35	28															
うち当年	6	4	7	5	6															

目 名	農業改良普及費
事業(活動)名 (西部農業改良普及所)	普及活動の概要(目的、実績等)
農業改良普及所 管理運営費	効率的な普及活動に必要な情報ネットワークや情報機器の整備、携帯電話の利用料金及び公用車使用料等に充てた。
農業改良普及 指導活動費 (6 主な事業に関する調べに記載)	<p>「業務概要は、(3)普及活動の重点事項と指導活動状況に記載」</p> <p>普及指導計画に基づき、作物、野菜・花き、果樹、畜産、総合支援の5つの専門班を置き、班による、技術指導・経営指導を実施するとともに、実証ほを7カ所設置し、新技術等の農家への普及や、課題解決を図った。</p> <p>また、集落営農組織の法人化を含む、担い手と新規就農者の育成、遊休農地解消等の支援を行った。</p> <p>普及指導活動について、各専門班において意見を聞く会を開催し、普及活動の実績に対する意見や、活動に対する要望を聞き、次年度の普及計画に活かした。</p> <p>普及指導活動の協力者でもある指導農業士(13名)に対しては、視察や新規就農者との交流会を実施し、資質向上と新規就農者との関係づくりに役立てた。</p>
普及職員研修費	<p>普及職員の指導能力向上のため、国・県の実施する研修に参加した。主なものは、新規普及職員研修(国)、実務能力習得研修(国)、土地利用型農業支援研修(国)技術向上研修(県)、実践的農業基礎研修(県)などである。</p> <p>採用1年目の職員1名、2年目の職員1名について、「専門能力」、「現場対応能力」の早期習得のため、新任普及職員職場研修(OJT研修)を実施した。</p>
委託料	土壌分析の際に生じた廃液(廃酸、廃アルカリ)、土壌分析機器1台を産業廃棄物として委託処理を行った。

目 名	農作物対策費
事業(活動)名 (西部農業改良普及所)	普及活動の概要(目的、実績等)
生産振興推進事業	花きの生産振興と環境美化のため、庁舎玄関の生花や花壇の飾花を行った。
有機・特別栽培農産物GAP等総合支援事業	有機JAS認証に係る検査および判定業務を行い、有機農業の推進に寄与した。

16 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

- 管内の農業は、弓浜砂丘地を中心に白ねぎ産地を有し、大山山麓の黒ぼく地帯では梨・柿等の生産や酪農・肉用牛等の畜産経営、平坦部水田地帯では水稻・白ねぎ、ブロッコリー等を組み合わせた複合経営が行われている。水田地帯では、20ha以上の大型稲作農家も多く、集落営農の法人化も進んでいる。弓浜砂丘地では野菜の大規模法人経営も見られ、農地の基盤整備も進められるなど、それぞれの地帯の特性を生かした農業が展開されているが、一方では農業従事者の高齢化による担い手の減少や中山間地域では集落機能の低下などが進行し、農業農村を取り巻く環境は厳しさを増している。
- 平成30年度からは、国による水稻の作付目標面積配分の廃止、農業経営相談所設置により農業経営の新たな展開や経営継承など、伴走型の支援体制が整備され、令和元年度からは収入保険制度の導入など政策の転換がはかられた。鳥取県では、平成30年に農業生産1千億円達成プランを策定し、Ⅰ「仲間が増える」、Ⅱ「所得が増える」、Ⅲ「地域農業が進む」を基本目標として、10年後(令和10年)の農業粗生産額1千億円達成を目指して農業振興に取り組んでいる。
- 西部農業改良普及所は、こうした国や県の動向を踏まえながら、地域や経営の課題解決のため、担い手どうしや地域を含めた話し合いに(人・農地プラン)の推進により地域に根差した農業振興を図るとともに、スマート農業の実証事業、GAPの推進など多様な取り組みを通じて「消費者の満足度を高める農畜産物の生産支援と所得向上を目指す農業者への自立支援」を推し進める。
- また、課題解決のために特技や担当の枠にとらわれず柔軟に体制を整えることとし、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構、市町村、農業協同組合等の農業団体・関係機関等と密接に連携し、農業者の支援にすきまを生じないよう役割分担等を図りながら、効率的かつ効果的な普及指導活動を展開する。

イ 活動体制

- 米子市、境港市、日吉津村、南部町、伯耆町を管轄区域とする。
- 総合支援、作物、野菜・花き、果樹、畜産班の5班を置き、専門分担方式の普及指導活動を行う。総合支援班は西部農業改良普及所次長を班長とし、新規就農者支援、農業労働改善、スマート農業支援、農業青年と女性農業者支援を行う。なお、地域振興など専門班を越える課題は、プロジェクトチームを編成し課題解決にあたる。
- 果樹班は、日野農業改良普及所も兼務する。
- 市町村等関係機関との連絡調整業務を行う窓口担当者を置き、普及主幹、副主幹が担当する。
- 普及指導計画の進行管理、情報の共有化、他機関との連絡調整を図るため、所内全体会議、班長会議、専門班会議、プロジェクト会議を適宜行う。

(2) 農業改良普及所の担当地区

市町村名	担 当 地 区 の 状 況								
	田 ha	畑 ha	樹園地 ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 千羽
米子市	1,299	434	52	1,784	1,414	19	165	-	584
境港市	9	99	0	109	73	-	-	-	56
日吉津村	110	20	1	130	97	-	1	-	-
南部町	701	55	64	820	629	187	306	0	-
伯耆町	870	185	14	1,069	773	75	1014	-	166
合計	2,988	793	131	3,912	2,986	281	1,486	0	806

田、畑、樹園地、販売農家数は2020年農林業センサスによる。

家畜飼育頭数は令和2年2月1日現在で、畜産課調べによる。(鶏は、千羽未満は四捨五入による)

-は事実のないもの。

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

<重点項目>

ア 担い手農業者等の経営発展および新たな担い手の育成・確保

- (ア) 担い手育成は最重要課題であり、認定農業者をはじめとする多様な農業の担い手に対し、地域の戦略作物の生産性向上、新技術の普及に努める。また、人・農地プランに基づく農地集積による規模拡大等、経営発展の取り組みを支援する。
- (イ) 新規就農者、青年農業者の定着と資質向上、自立にむけた農業生産技術および農業経営に関する技術習得を支援し、市町村、農業協同組合、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構等と連携して、新規就農者が自立できるように継続した支援をおこなう。
- (ウ) 女性の農業経営への参画支援や女性農業者のグループ活動支援など、女性農業者への支援体制を充実強化する。

イ 多様なニーズに即した農畜産物等の安定生産と産地育成

- (ア) 消費者ニーズに即した農畜産物の安定的な供給を目指し、市場関係者、販売者、消費者との連携を強化して、産地の発展を支援する。
- (イ) 気象災害に対するリスク回避を考えた安定生産と農業経営維持・発展のための技術支援や経営支援をおこなう。
- (ウ) 農産物の安定生産、省力化、生産性向上を目指し、関係機関と連携して白ネギの葉部腐敗症対策構築と収穫、出荷調整作業の効率化、果樹の新品種・ジョイント栽培など新技術の普及を推進する。
- (エ) 畜産では子牛のセリ価格は全国トップクラスであり、母牛の繁殖及び子牛の発育向上も図ることにより、畜産の産地拡大を支援する。

ウ 地域農業の振興と農村地域の活性化

- (ア) 中山間地域などの農村の維持・活性化を図るため、農地の保全、地域農業の創生を図る。中山間地に対する多様な支援体制と連携して、農業振興対策を実施していく。
- (イ) 地域の水田農業を維持・活性化するため、地域の集落営農型法人の経営発展を支援する。

エ 持続可能な農業生産の推進と食の安全・安心の確保

- (ア) GAP(農業生産工程管理)の取組を農業者、農業者組織に推進し、作業性・生産性の向上を図る。
- (イ) 農産物の安定生産のため、農業者の身体的負担軽減、省力化を考えた作業改善を支援する。
- (ウ) 持続性の高い農業生産方式の導入を目指し、有機農業に向けた取り組み及び特別栽培等の取り組みを支援する。
- (エ) 生産現場における農畜産物の生産履歴の記録や資材の適正な使用の取り組みを支援する。

<普及活動状況>

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
【作物班】 高品質な「星空舞」の栽培支援	「星空舞」栽培者 297名、188ha	①新品種の紹介と生産安定技術の普及 ○栽培暦の周知と必要に応じた改正支援、管理技術の普及啓発 ・JA鳥取西沼田に対し、栽培者への栽培暦周知のための講習会開催の呼びかけと技術資料(講習会資料、栽培暦)の内容について助言した。また、各種講習会で生産者へ「星空舞」の栽培技術の徹底のための助言を行った。 ②地域に合った生産安定技術の検討 ○施肥方法の検討(食味値、品質、収量性の確認) ・品質向上と収量性確保をねらった肥	・適正な水管理や施肥、適期刈穫について現地指導会と個別現地巡回を6~10月に39回実施できた。農家への技術の理解は進んだが、記録的な長雨により中干しが徹底できなかったものが多かった。また、2/14~2/16にかけて、令和3年産栽培予定者へ11回の栽培講習会を実施した。

		<p>料試験(緩効性肥料、分施、減肥)を、星空舞ブランド化推進協議会調査35か所で実施し、生育調査・収量調査や農家への直接農密指導を行った。</p>	<p>・調査5か所の平均値 反収561kg(510kg)、整粒率76.4%(80%)、等級1等、食味値77(80)とほぼ目標を達成した。(当初目標値)</p>																								
<p>【野菜・花き班】 気象災害に対応した水田地域等の白ねぎ振興</p>	<p>JA鳥取西部中央営農センター管内 白ねぎ生産部 95戸、23.2ha (重点2戸)</p> <p>JA鳥取西部南部伯耆営農センター管内 白ねぎ生産部 68戸、30ha (重点2戸)</p>	<p>① 白ねぎ収量の向上対策の実施 ○排水対策による生産基盤の安定化 排水対策チェックリストに基づいた排水対策改善支援等を行った。(中央、南部伯耆) ・N氏：トンネル栽培の排水対策を行う時期の改善、圃場選定の見直しを提案した。 ・O氏：プラソイラー施工による排水改善効果の確認 ・A法人の暗渠施工効果について地域整備課担当者と施工効果について聞き取り調査を行った。(8/3) 降雨後の巡回により廃污水状況を調査した。(南部伯耆) ○収量性の高い品種の選定 ・品種試験を実施し現地に適した収量性の高い品種の検索を行った(中央、南部伯耆) ・1/15伯耆町栽培検討会において試験結果の説明を行った。(南部町：2/9)。 ○ねぎに取り組む大型水稲法人におけるねぎ作業体系の改良検証(南部伯耆) ・小型トラクターによる作業体系の改良 ・粒剤散布機装着による粒剤散布について聞き取り調査を行った。 ・自動操舵システムによる植溝の設置、土寄せ時の直進性について調査した(6/2)。 ・畝形状の調査を行った。(10/20) ○地区別白ねぎの出荷推進対策 ・中山間夏ねぎ収穫期前進化の実証のためトンネル栽培の記録を取っていただき協議を行った。 ・富江地区、大滝地区でのトンネル被覆及び灌水によるねぎ品質向上実証について生産者と意見交換を行った。 ② 担い手の育成 ・新規栽培者を対象に、白ねぎ栽培基礎講座を5月8日に開催した(南部伯耆・6名参加)。 ・現地指導会に参加呼びかけを行った。</p>	<p>○重点対象における排水チェックリストに基づいた排水対策が実施され、それぞれ効果を実感。 ・11月に額縁排水、パイプロ施工された。その結果、定植後、植え溝に水がたまることもなく排水状況は良好である。 ・チェックリストに基づいて排水良好なほ場へ作付けを変更された。 ・前年度の施工について効果を実感し、今後も排水対策を行う意向。 ・パイプロソイラーを施工したことにより、通常の降雨であれば1~2日程度で水が引き、排水効果が見られ改善を実感。 ○「秋の宝山」は夏越しが良好で欠株も少ない傾向で、「参考品種」として苗注文書に記載することとなった(南部伯耆)。</p> <div data-bbox="1069 1075 1452 1332"> <p>10a当たり出荷箱数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>3L</th> <th>2L</th> <th>1L</th> <th>M</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋の宝山</td> <td>250</td> <td>300</td> <td>111</td> <td>54</td> <td>1115</td> </tr> <tr> <td>関野一本太</td> <td>542</td> <td>194</td> <td>42</td> <td>49</td> <td>837</td> </tr> <tr> <td>豊原パフィー</td> <td>458</td> <td>389</td> <td>272</td> <td>52</td> <td>1191</td> </tr> </tbody> </table> <p>残存率 秋の宝山 88% 関野一本太 46% 豊原パフィー 88%</p> </div> <p>○自動操舵について、法人代表及び作業者は植溝設置時及び生育前半の作業精度の高さを実感し、手応えを感じた。 ○畝が高くなるにつれ、作業時にトラクターのタイヤがとられた際うまく自動操舵が機能しないことが判明した。 ○収穫時期、収量、経費、労力について、整理した結果、10aあたり8万円の増収効果が見込める結果となった。 ○試験実施に向けて理解が進んだ。</p> <p>・指導会では積極的に質問されるなど積極的で、追肥のタイミングや防除について理解された(南部伯耆)。</p>	品種	3L	2L	1L	M	合計	秋の宝山	250	300	111	54	1115	関野一本太	542	194	42	49	837	豊原パフィー	458	389	272	52	1191
品種	3L	2L	1L	M	合計																						
秋の宝山	250	300	111	54	1115																						
関野一本太	542	194	42	49	837																						
豊原パフィー	458	389	272	52	1191																						

		<ul style="list-style-type: none"> ・若手組織「白葱南伯連合会」の活動支援（南部伯耆）を行った。 ・役員会を行い、今年度の活動について助言した。（5/28） ・研修会の開催を支援した。 第1回：6/18、参加者16名 内容：バスアミド処理による除草効果 第2回：9/17、参加者10名 内容：先進地視察（江府町） ・1/14役員会が開催された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会は事務局の営農センター職員が主導であったが、研修会の開催には前向きな意見も出ていた。 ・意見交換や質疑など積極的に行われ有意義だった。 ・役員会では役員改選について話し合われた。
<p>【果樹班】 梨の生産安定と産地振興</p>	<p>米子・あいみ果実部 梨生産者54戸、 25.9ha 別所選果場 梨生産者15戸、 4.6ha 江府町農業公社 0.1ha (重点対象農家18名)</p>	<p>①各品種の生産安定、品質向上及び更なる導入推進</p> <p>○「新甘泉」の生産安定と品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変形硬化対策として、摘果時期を幼果の形がよく分かる時期にするようパンフレットを配布（5/1）した。 ・安定した高収量をあげるために夏枝管理により花芽を確保するように指導した（7/1, 8）。 ・高及び低収量園の結果枝等の枝齢（4月）収穫量（9月）を調査し結果をもとにせん定方法を指導した（12/4, 7, 11）。 <p>②省力化と早期多収栽培技術の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培初心者に対してジョイント接ぎ木方法（2戸）、新梢誘引（6戸）、せん定（4戸）を個別に指導を行った。 ・ジョイント研究会を3回（内1回はコロナ対策のためパンフレットのみ配布）行った。生産者、関心のある人を集めて現地で研究会を実施した。（3回） <p>③新規就農者の育成確保</p> <p>○別所地区で初心者向けの梨柿栽培初心者講習会を開催した（6月）。</p> <p>○南部町に対して米子市稲吉集落が「農地耕作条件改善事業」に取り組む事例を紹介し、同様に取組むように働きかけた。</p>	<p>○「新甘泉」の生産安定と品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘果を形状がわかる開花後40日頃から行い変形硬化の割合は少なかった。 ・夏枝管理で徒長枝の切除、誘引が行われる園が多くなった。 ・予備枝を多く残し、枝齢が進んだ側枝を更新したせん定がなされるようになった。 <p>・1戸が新たにジョイント栽培をはじめ、16戸、2.4haとなった。</p> <p>・研究会は夫婦、親子を含め参加者は20名程度あり、活発に質問も出て関心は高まっている。</p> <p>○基礎の技術は習得され、今後は選果場の指導会で対応することとなった。</p> <p>○令和3年度に町内に新規栽培者の募集をかけることとなった。</p>
<p>【畜産班】 和牛の生産拡大に向けた支援</p>	<p>繁殖和牛農家41戸</p>	<p>①子牛の生産性向上の支援</p> <p>○子牛の健康状態の確認、飼養改善・JA等と連携して、管内の子牛の巡回調査を2か月毎に行った。雌</p>	

	<p>465頭、雄469頭（延頭数）について全国和牛登録協会（全和）の平均発育（体重）との差を標準偏差（σ）を用いて示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子牛の発育の将来を大きく左右する哺乳期（3か月齢）までの子牛管理の適正化による発育促進について農家へ助言し、技術を共有した。疾病対策は臨床獣医師や家保と連携して子牛の検査や看護技術を支援し、牛の損耗事故の防止に努めた。 ・人工哺乳による発育効果がも低い農家で、実際の哺乳の手技を確認した。哺乳時の子牛の頭の上向きの角度過大や、哺乳瓶の乳首の孔の加工により子牛の嚥下能力を超えた流量で代用乳を給与していた事例を確認し、そのような状態下では誤嚥性肺炎が生じ易いことも農家に説明、改善を助言した。 <p>○せり上場時の子牛体重データの解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年の8回のせりについて、管内出荷牛の成績と県平均のそれを比較した。牛のせり出荷時体重の分布を全和σのヒストグラムで示した。 <p>○母牛の飼養管理向上の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母牛の分娩前の時期の飼料給与設計支援を行った（2戸）。それぞれ胎子の発育を考慮し、母牛の栄養状態の確認を農家と共に行い、助言を行った。 <p>③ 規模拡大農家の取り組み支援</p> <p>○多頭化に伴う飼養管理の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼養環境改善の効果の検証の継続として、ペーパーシュレツダー利用による牛房内の粉塵抑制や、消毒剤添加のミスト利用による牛舎内空気中浮遊細菌数の低減を図ることで子牛の肺炎発症頭数の抑制することを継続支援し、子牛の発育の確認を行った。また、1戸に冬期の寒冷対策として、子牛のジャケット着用を推奨した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雌の日齢体重（体重/日齢）は1.07 ± 0.27kg、体重σは0.5 ± 1.1であり、雄の日齢体重は1.18 ± 0.27kg、体重σは$\Delta 0.1 \pm 1.5$であった。発育予測曲線（体重）では、全和平均と比べ、雌は大きく、雄は同程度を示した。 ・子牛の発育データから重点農家のせり時の日齢体重は雌0.97kg、雄1.13kgと推定し、良好な発育が期待できたが、農家間で発育の程度に差異を認めた。栄養の充足を示す子牛の外観観察について農家の意識が高まり、栄養の補充など早期対応する場合が増した。 ・子牛の誤嚥性肺炎に罹患すると治療（抗生剤投与）に反応し難くなることや子牛の発育が抑制されること、死亡事故に至る場合があることを農家が強く意識するようになり、子牛の哺乳態勢の確認や哺乳瓶の正しい使用に心掛けるようになった。 ・子牛の発育の程度が販売額に影響することを農家が再認識し、自身の管理技術の振り返りや改善につながった。 ・母牛の産出子牛は正常であり、母牛も分娩後の状態が良好であった。 ・今期から子牛の防寒用ジャケット着用を開始し、子牛の活力増加が見られた。農家の改善の取り組みにより、子牛の初期発育が向上し、畜産経営の意識高揚が見られた。
--	---	--

【総合支援班】
白ねぎ作業改善の推進

白ねぎ生産者約510戸
若手農業者（若葉55会69名、NE∞T20名、夜見の会12名）

①作業の改善の検討

○白ネギ生産者の半数以上が腰痛を抱え、とめ・収穫・運搬で負担が大きい実態が明らかになった。これら三つの作業改善に取り組んだ。

- ・とめ作業については、農具の改良と開発機械の実用化の検証に取り組んだ。とめ農具について、土付き防止策、押さえ板の幅、柄の長さ調節機能の3項目について改良した試作品について、試用アンケートを実施し、実用性を検証した。開発機については、改良機（土押さえ用培土器ウイングローラー）を砂丘畑で3回、黒ボク畑、転換畑で1回ずつ試用試験を実施した。また、砂丘畑においては、JAと共催で実演会を開催した。
- ・収穫作業については、作業実態を明らかにし、収穫期の作業台の高さ調節機能について5戸で検討し、作業姿勢の改善に取り組んだ。併せて土落とし装置の紹介を図った。
- ・運搬作業については、運搬方法改善として、ブロックリー収穫台車の活用について、従来方法（コモ運搬）と身体負担状況や作業効率を比較調査し、効果を検証した。

②腰痛予防・改善のための身体管理方法の効果確認と普及推進

- ・腰痛対策セミナーを鳥大医学部と連携し、9/25に開催した。
- ・鳥大関連の理学療法士指導の下、「腰ラクラク白ねぎ体操」のパンフレットを作成し、各地区の指導会等にて実演指導をした。
- ・「負担の少ない収穫姿勢」及び「運搬方法」、「腰ラクラク白ねぎ体操」の動画作成し、とっとり動画チャンネル、普及所HPに掲載するとともに、DVDは西部地区各普及所、JAに配布し、貸出体制を整備した。また、チラシを作成し、JAを通じて全戸配布した。
- ・作成動画は研修会や巡回等の機会も活用し、実演とPRに努めた。

③白ねぎ出荷調製作業の効率化推進

- ・西部地区の農業労働担当で調査方法の統一を図り、優良農家の調査を行い、事例収集中。
- ・優良事例をもとに、白ねぎ出荷調製作業マニュアルをJA、運

- ・とめ農具については、西部地区全体でのアンケート結果により、土付き防止策としては穴あきタイプへの改良方向が明確となった。他の2項目については、意見がばらついたため、さらに改良・検証を継続し、商品化を目指している。
- ・培土改良機は、何れの土質でも作業可能であった。実演会は約40名の参加があり、女性でも簡単に操作でき、農具による手作業よりも能率が2倍以上に改善されることが実演でき、生産者の関心も高く、4機新規導入された。
- ・収穫作業姿勢の改善として、作業台の高さ調節機能により、立ち姿勢に改善できることを実演指導し、1戸で導入希望があった。また、土落とし装置の機能は新機種から付加された。
- ・疲労部位アンケート、筋電計測定、中腰姿勢の出現回数の比較を行った結果、台車利用の方が腰、肩、背部、もも裏が疲労が少なく、中腰姿勢の出現回数が慣行の56%に減少した。

- ・セミナーはNE∞Tと夜見の会の合同研修会として開催し、13名の参加があった。
- ・実演指導会は、5/22～12/4に64回実施し、延べ406人の参加があった。南部伯耆地区のアンケート調査では、約40%の人が「家でも実施している」との回答で、定着しつつある。
- ・動画作成には、生産者からも意見をいただきながら積極的に参加していただいた。
- ・動画と体操の効果についてアンケートを実施した結果、動画視聴66%、体操の継続60%、体操の効果あり80%であった。わかりやすく、いつでも見れるという意見の一方、腰痛がないので見ないという意見もあった。

- ・弓浜、中央、南部伯耆の各地区1戸ずつカメラ調査を実施し、事例収集を行った。調査を継続し、各地区の事例の収集数を増やし、優良事例の解析を進める。

	<p>営委員会と検討しながら作成する。</p> <p>・効率の改善を希望する農家へ、個別に改善支援を行う。</p>	<p>・マニュアル作成に向け、白ねぎ部会3役会で意見を聞き、身体負担と対策についても追加することとなった。</p>
--	---	---

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	指導内容	成果又は結果
みんなでやらいや農業支援事業 (がんばる農家プラン事業、がんばる地域プラン事業)	経営発展を目指して個人やグループが作成する農家プランや、地域活性化のため町やJAが作成する地域プランについて、技術・経営上の相談に対応し、プラン作成を支援するとともに、目標達成に向けて技術等の指導・支援を行った。	米子市5件、境港市1件、伯耆町3件、日吉津村2件、計11件のプランが新規認定された。
とっとり農林水産業女子が進める働き方改革推進事業	女性農業者の経営参画を推進するため、西部地区女性農業者を対象に草刈り機講習会を開催した。また、併せて、女性農業者ネットワーク交流会を開催し、活動を支援した。	<p>・草刈講習会は、コロナ禍で延期での開催ということもあり、管内の参加者は2名であったが、草刈り機の基本がわかり好評であり、その後の安全作業の意識改善やメンテナンス等に生かされている。</p> <p>・大型特殊免許取得とフォークリフト運転技能講習を1名が受講、普通運転免許(オートマチック限定解除)を1名が取得した。</p>
農作業安全・農機具盗難防止対策事業	指導会・研修会や巡回時を利用して、農作業安全を促した。農作業安全運動期間は、特に強く意識して啓発を行った。	安全運動期間、公用車にステッカーを張り、啓発を図った。 管内の農作業事故は軽微な事例(圃場ボヤ)が1件のみであった。
有機・特別栽培農産物GAP等総合支援事業	有機農業の技術支援や、特別栽培農産物の認証に向けた生産技術や申請に係る指導・支援を行った。 有機JAS認証のため、検査員としての現地調査業務と、判定員業務を行った。	<p>有機JASの認証件数8件 (米子市2件(加工)、境港市1件(加工)、日吉津村1件(農産物及び加工)、伯耆町3件(農産)、南部町1件(農産))</p> <p>特別栽培農産物の認証件数18件 (米子市10件、境港市2件、伯耆町3件、南部町3件)</p>
戦略的園芸品目(白ネギ)総合対策事業	<p>・白ネギ部会の活動に参加し、県下のJA普及員等と反収UPにつながる栽培技術について情報共有や現地視察研修等を行った。</p> <p>・ネギ黒腐菌核病対策として土壌消毒、生育期農薬散布、微生物資材の投入等の指導を行った。</p> <p>・ネギ黒腐菌核病防除マニュアル(弓浜砂畑版)の作成に向け関係機関と連携をとりながら編集作業を行い完成させた。</p>	<p>・年1回の現地研修会を行った。</p> <p>・発病ほ場が減少した。</p> <p>・年度内に印刷を終了し、新年度に弓浜地区の白ネギ栽培全生産者に配布した。</p>
(国)農地耕作条件整備事業	南部町の五色ヶ丘果樹団地の生産者に対し、事業について説明し、改植、農地の貸し出しの意向を調査した。	令和3年度に町内全域に些細倍希望者を募集することとなった。
鳥取へ!JU!アグリスタート研修支援事業、新規就農者総合支援事業 (国、県)、鳥取県版農の	<p>先進農家での本格的な研修を実施するに当たり、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構や指導農家と連携して技術指導した。</p> <p>あわせて、就農計画作成の支援を行った。</p>	新たに、6名が認定新規就農者となった。

雇用支援事業		
農業者総合サポート事情（農業経営相談所）	新規で経営相談所に2件申請され（米子市2件）経営戦略会議で対応が協議され、社会保険労務士の派遣が決まった。	新規2件を含め、計6件で継続指導している。
和牛増頭対策事業	農業者の増頭計画作成支援および、飼養技術の支援を行った。	令和2年度、事業により導入された繁殖用雌牛：80頭（15戸）。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示園（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ

(令和3年4月30日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
農業改良普及指導活動費	【ストック】ストック鑑別率向上策の検討	商品価値のある八重咲きを多く栽培するため、八重鑑別作業を容易にする「鑑別名人」という特殊コート種子を使用した八重率向上効果について検証する。	伯耆町大滝	個人	10,000円	9a	R2. 7. 15 ～ R3. 1. 31	R2. 7. 15 ～ R3. 2. 28	10,000円	R3 3/15
	【ストック】ストック連作障害改善策の実証	ストックは長年の連作により塩類集積が生じており、生育障害が起きやすくなっている。そこで、多量灌水で塩類を洗い流すことによる方法の効果について検証する。	南部町金田	個人	10,000円	2. 4a (6m×40mハウス1棟)	R2. 8. 1 ～ R3. 1. 31	R2. 7. 25 ～ R3. 2. 28	10,000円	R3 3/15
	【果樹：梨】「甘太」ジョイント栽培の栽培技術の検討	梨新品種「甘太」は9月下旬から収穫できる青梨で今後普及が見込まれている。「甘太」に適した大袋を検討する。また、収穫量に大きく影響する側枝更新時期を確認するため枝齢別の花芽の着生状況を調査する。	米子市淀江町稻吉	個人	10,000円	5 a	R2. 9. 14 ～ R3. 1. 30	R2. 8. 14 ～ R3. 2. 26	10,000円	R3 3/22
	【果樹：梨】「新甘泉」の早期側枝更新による生産安定技術の確立	「新甘泉」は、二十世紀系統と比較し短果枝の維持が難しく安定した収量の確保が難しい。そこで、	南部町朝金	個人	10,000円	15a	R2. 7. 13 ～ R2. 9. 30	R2. 7. 13 ～ R2. 12. 20	10,000円	R3 2/25

		側枝更新を早くして収量を確保している事例を調査し、収量・果実品質との関連について検証する。								
【果樹：柿】 「輝太郎」の 笠かけ時期が 果実品質に及 ぼす影響	柿「輝太郎」は単価が高く県西部でも導入が進んでいるが、果皮が弱く、赤秀率が非常に低い。前年、笠かけによって汚損果軽減効果が見られたことから、「輝太郎」の汚損果軽減及び着色促進に適した笠かけ時期について検討する。	米子市 別所	個人	10,000円	1 a	R2. 7. 10 ～ R2. 10. 31	R2. 7. 10 ～ R2. 12. 28	10,000円	R3 2/9	
【畜産】 和牛の飼養密 度と発育への 影響の検討	和牛（子牛）の飼養密度は、生産性に影響し、アニマルウェルフェア（Animal Welfare）の5つの自由（空腹と渇きからの自由、不快からの自由、痛みや傷・病気からの自由、正常な行動を発現する自由、恐怖や苦悩からの自由）の下では良好な発育が期待できる。子牛の飼養密度と生産性について調査を行い、その関連性を検討し、飼養管理の指針策定に資する。	伯耆町 上野	個人	10,000円	6か月齢 までの子 牛（雌30 頭、雄32 頭2頭）	R2. 10. 5 ～ R3. 1. 15	R2. 10. 1 ～ R3. 2. 15	10,000円	R3 3/9	

<p>【加工・労働】 白ねぎ収穫作業におけるプロッコリー収穫台車の活用効果検証</p>	<p>白ねぎ生産では収穫時のコモ運搬（重量物運搬）が腰痛を引き起こす要因の一つとなっている。 そこで、プロッコリー収穫台車を利用し、重量物運搬作業をなくすことで、身体負担の軽減効果及び作業能率を確認する。</p>	<p>米子市 旗ヶ崎</p>	<p>個人</p>	<p>10,000円</p>		<p>R2. 6. 5 ～ R2. 11. 30</p>	<p>R2. 6. 51 ～ R2. 12. 28</p>	<p>10,000円</p>	<p>R3 3/22</p>
---	--	--------------------	-----------	----------------	--	--------------------------------------	---------------------------------------	----------------	--------------------

西部農業改良普及所 大山普及支所

1 5 事業別予算執行状況調べ

目 名 農業総務費		(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
新規就農者総合支援事業	就農希望者(9名)、親元就農希望者(3名)、独立就農希望者(3名)に対して就農支援制度の情報提供、研修計画、経営計画の作成などを支援した。さらに、新規就農者(9名)に対して基礎的な農業技術、経営管理技術について指導した。	
とっとり農林水産業女子が進める働き方改革推進事業	新型コロナウイルス禍の影響で活動実績なし。	

目 名 農業改良普及費		(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業改良普及事業 (農業改良普及所管理運営費)	現地指導に用いる公用車の使用料、燃料費等の維持管理費、安全運転管理者協議会負担金、土壌診断のための消耗品の他、普及所庁舎の光熱費等にかかる費用など。	
(農業改良普及指導活動費)	<p>J A生産部や農業者(重点対象者含む)などに対して、栽培技術に係る指導助言や簿記帳などの経営指導、新品種の適応性確認・新技術の情報提供など、一連の普及指導活動を展開してきた。</p> <p>また、電動収穫台車利用による軽労化の実証や新技術の効果確認などを行うため、実証展示ほを8課題設置し、活動の成果は講習会で報告を行った。</p> <p>さらに農業者から普及活動に対する意見や要望をとりまとめ、次年度の普及活動に反映させた。その他、普及指導活動の協力者でもある指導農業士(9名)の活動を支援した。</p>	
(普及職員研修費)	普及指導職員の指導力向上などのため、県が実施する研修や農林水産省が主催する各種研修を受講した(普及指導員実務能力習得研修(国)、新任普及指導員研修(国)など)。	

目 名 農作物対策費		(令和3年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
生産振興推進事業	花きの生産振興と環境美化のため、庁舎玄関周辺にミニフラワーガーデンを設置した。	

16 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

管内（大山町）の農業は、広大な大山山麓を基盤として営まれており、海岸部から約700mまでの標高差と恵まれた環境条件を活用し、水稻、ブロッコリー、白ネギ、芝、種苗類、ナシ、リンゴ、牛乳（酪農）、肉用牛、肉用豚、肉用鶏、採卵鶏などの農畜産物が生産されている。また、ブルーベリーなどの観光農園も多く見られるなど、大山山麓の恵みを生かした多様な農業が展開されている。

管内の担い手の状況は、鳥取県内の他地域と同様、農業就業人口は50歳以上がほとんどで（93%）、70歳以上が約半数を占めるなど、農業就業者の高齢化が進んでいる（2020 センサス）。

さらに、消費者ニーズの多様化、農畜産物の輸入増大、経済の停滞による消費の低迷、農業資材や飼料価格の高止まり、気象変動による被害発生、高齢化による栽培面積の減少など農業経営環境は厳しさを増している。

そうした中であっても、管内では発展的な農業経営を目指す農業者も多く、認定農業者は平成3年3月時点で162名に達し、県下トップの認定者数となっている。認定農業者の中には、規模拡大や新規品目の導入などの発展的な経営プランを策定して所得向上を目指す農業者も多く、地域農業の重要な担い手となっている。

また、就農相談希望者や新規就農者も多く、平成21年までは年平均2名程度であった新規就農者は、平成22年から令和元年までで計58名（年平均5名程度）となり、平成25年以降増加傾向にある。品目ではブロッコリーを柱にした経営開始が大半であるが、白ネギでの経営開始も出始めている。

さらに、管内には技術や経営のスキルアップを図り農業経営への参画や相互交流に積極的に取り組む女性農業者も見られ、多様な担い手が特色のある農業を展開することで、本地域は本県有数の農業地帯となっている。

また、大山町は、安心安全な農産物作りを基本とした産地作りを基本とした農業振興を展開していることから、堆肥を活用した農産物生産のための畜産と耕種との連携強化を進めている。

以上の現状を踏まえ、本普及支所は普及員が農業者に直接現場で接し技術や経営に関する支援を行うことにより、農業経営や農村生活の改善に自主的に取り組む農業者を育成・支援することを基本方針としている。

この方針に沿って、農業者と将来展望の共有や課題の明確化を図りながら、農業経営の技術の革新、担い手の育成確保、豊かでゆとりのある農家生活の実現、活力ある産地の形成、環境保全や食の安全・安心の確保等为目标として普及指導活動を展開する。

イ 活動体制

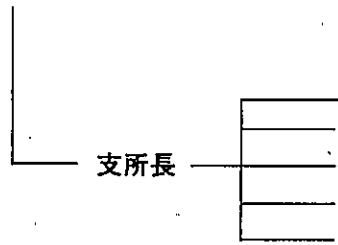
活動体制

- (1) 作物、野菜・花き、果樹、畜産、総合支援の5つの専門分担方式の体制のもとで普及指導活動によって現地の課題解決を図る。
- (2) 各専門班には班長及び担当普及員を配置し、班長の総括のもとに専門分野に関する課題解決を行う。
(総合支援班は班長のみ)
- (3) 総合支援班は、班長のもと、新規就農者支援課題、法人・担い手・女性課題に担当を置き、相互に連携して活動を進める。
また、労働課題は総合支援班長が各班と連携をとりながら取り組む。
総合支援班の普及対象となる農業者に対して担当普及員を配置し、総合支援班内で連携して個別支援を展開する。
- (4) 普及活動の成果を効率的・効果的に上げるために重点対象を設定し、得られた成果を講習会、研修会、広報等を活用して地域の農業者等に迅速に伝達する。

《体制図》

西部農業改良普及所大山普及支所

西部総合事務所
農林局長



- 作物班 … 2名 (班長1名、班員1名)
 - 野菜・花き班 … 4名 (班長1名、班員3名)(注1)
 - 果樹班 … 2名 (班長1名、班員1名)
 - 畜産班 … 3名 (班長1名、班員2名)
 - 総合支援班 … 5名 (班長1名、班員4名)(注2)
- (注1) 総合支援班班長兼務
(注2) 班員は各班長

(2) 農業改良普及所の担当地区

(令和3年4月30日現在)

大山町	担 当 地 区 の 状 況									
	田 ha	畑 ha	樹園地 ha	牧草地 ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 羽
2020	1,583	1,124	79	328	3,114	1,408	2,696	1,258	×	1,467,000
2015	1,680	1,332	121	—	3,134	1,685	2,626	765	45,582	×
2010	1,722	1,303	157	410	3,592	1,834	2,469	1,236	31,270	×
2005	1,974	1,300	207	341	4,120	2,243	3,170	2,170	38,800	906,000

※農林業センサスより、×は個人等の秘密保護のため統計数値を公表しないもの

※2010年は全項目が、販売農家のみ

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
<p>地域ブランド作物の産地育成</p>	<p>地大豆生産組織 7名 小麦生産者 2名</p>	<p>1 地大豆「緑だんだん」の収量向上に向けた技術支援 ・栽培暦を一部改訂し、これに基づき栽培2年目の会員(3名)を中心に現地指導を行った。</p> <p>2 地大豆生産組織の運営支援 ・地大豆の種子確保のため、採種ほの選定と適正管理を指導した。 ・需要に応じた生産量を確保するため、生産組織と大山恵みの里公社の営業担当の情報共有を支援した。</p> <p>3 収量、品質、加工適性に優れた小麦生産のための技術支援 ・低アミロ(*)・カビ毒のリスク回避のため、適期の赤カビ病防除、降雨前の収穫の徹底を図った。 (*低アミロ：小麦が穂発芽し製パン適性が低下した状態。) ・タンパク含有量と安定収量を確保するため、止葉抽出期と開花期をもとに適切な追肥の実施を支援した。</p> <p>4 大山地区の小麦生産者の情報共有支援 ・管内農家の栽培概要や収量・品質結果を取りまとめ、反省会を開催して情報共有した。</p>	<p>・栽培2年目の3名の反収は106~153kg/10aで生産組織の目標(80kg/10a)を上回った。組織全体の平均反収も120kg/10aで目標達成した。</p> <p>・R2年から「緑だんだん」の採種ほ設置管理を岡崎純一氏が一元化し、生産を行った。R3年度から同氏が生産組織の会長に就任した。 ・作付面積や生産状況を適宜、情報共有するようになり、R3年は販路の状況を踏まえ作付面積を縮小することとなった。</p> <p>・防除は速やかに行われ、赤カビ病の発生もなかった。梅雨入り前の6/2~7に収穫が行われた。 ・1名(中山地区)は開花期の実肥を行った。1名(大山地区)は倒伏が少程度発生したため、農家の判断で実肥を行わなかった。</p> <p>・2名のうち1名が実肥不施用により目標(480kg)未達となったため、R3年産の施肥設計を見直した。 ・品質面の目標は全て達成した(外観品質2等、パン又は中華麵用小麦の品質基準Aランク、低アミロ回避)。</p>
<p>大山町白ねぎ生産向上のための技術支援</p>	<p>白ねぎ生産者 87戸 重点対象者：水田モデル農家2戸、新規栽培者(2年目まで)6戸</p>	<p>1 水田での効果的な夏越対策の技術支援 ・水田での排水対策の現状把握を行い、生産者の排水に対する意識向上、実施促進を図った。 ・水田での地力づくりとして緑肥栽培試験の趣旨を説明し、生産者に実施を働きかけた。また、緑肥試験の効果を確認するた</p>	<p>・排水対策の実施が必須であることが認識され、排水対策を実施した生産者は40%となった。 ・生産者は試験結果に興味を持ち、期待が大きかった。緑肥栽培区では、無処理区に比べてすき込み後の硝酸イオン濃度が高かった。また、緑肥をすき込んだ区は透水性</p>

		<p>め、透水性および土壌分析を行った。また、すき込み量算出のため、生育調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田での夏期管理技術の向上を支援した（効果的な病害虫対策、新規薬剤情報、適応品種選定、施肥試験など）。 <p>2 散水利用による収量向上支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散水実施の啓発を行った（現地講習会、白ねぎ情報等）。 ・簡易スプリンクラーの展示園によるPR（視察対応、収量向上・害虫抑制効果確認等） <p>3 白ねぎ新規栽培者への重点支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白ねぎの基礎技術の習得支援を行った（白ねぎ栽培基礎講座） ・JA、生産部と連携した管理技術の習得支援を行った（グループ巡回、新規者講習会） ・篤農家を講師に夏越しのポイントと作型別の管理について講習会を実施した 	<p>が向上した。さらに有機物の供給量はソルガムが最も多く、次いでエンバク、ヘアリーベッチの順だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟腐病や白絹病の発生は少なかったが、黒腐菌核病が発生し、土壌消毒の趣旨を説明し、実施された。 ・大山町の施肥基準に従って窒素溶出量の測定を行い、生産者からは窒素量の推移がイメージしやすくなるという声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・末端散水施設の保有率は46.4%と前年より7.4%向上し、散水に対する意識の向上が見られた。 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者からは年間の作業の流れや栽培のポイントを理解できたとの声があった。 ・篤農家の実技（管理機の使い方）と講習で管理ポイントを学び、生理生態が理解できた、作型別の土寄せ時期、方法、タイミングが大変参考になったとの声があった。
<p>「新甘泉」の生産安定 ・品質向上対策および ジョイント栽培導入の 支援</p>	<p>大山果実部新甘泉 生産者：59名9.3ha （重点対象3名） ジョイント栽培導入 （予定）者11名 112a （重点対象6名）</p>	<p>1 新甘泉の安定生産と品質向上 支援</p> <p>(1) 花芽確保対策に係る整枝改善 の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整枝改善の実態調査を実施した。特に改善が必要な2戸対して個別巡回で指導した。 ・整枝改善に必要な新梢管理とせん定について指導会を計2回開催し、大山果実部指導部情報で情報提供を行い、周知を図った。 ・農家1戸を重点対象としてモデル樹を設置し、管理作業の伝達や指導会等に活用した。 <p>(2) 変形硬化対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変形硬化の発生量低減試験を行い、結果を指導部長に報告して今後の対策を検討した。 ・発生低減対策技術（満開40日後の粗摘果）について指導部情報で情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2戸とも新梢管理が実施され、樹形改善の理解が深まった。 ・指導会2回で生産者延べ36名の参加があった。 ・新甘泉出荷実績は、204t（計画：220t）であった。交配条件の不良や黒星病の多発などの原因によって計画より減少した。 <ul style="list-style-type: none"> ・試験結果には一定の傾向が見られず、変形硬化に有効な新たな対策は明らかにならなかった。検討の結果、従来の対策の周知を続けることとした。 ・平均の摘果日は、満開後38日であり、おおむね実施されていた。

		<p>2 ジョイント栽培の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培研究会の開催を支援し、園巡回を2回開催した。 ・新規取組農家掘り起こしのため、生産部員全員へジョイント栽培研究会の開催を周知した。 ・若手生産者や定植1年目と定植予定者を重点対象とし、個別指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園巡回に延べ21名の生産者が参加した。 ・ジョイント栽培面積が48a増加した(新規栽培者3戸、面積拡大2戸)。
畜産経営改善支援と後継者育成	<p>個別改善指導：4戸 香取地区青申会：9戸 中山肥育婦人部：4戸 HACCP農場支援：1戸</p>	<p>1 個別経営改善支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、定期的に経営改善検討会を開催。月毎の経営状況の確認と牛・豚の動態、自給飼料の刈取り状況、償還のための積立状況等を確認した。 <p>2 畜産後継者及びグループの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記記帳会を開催した。 ・外部講師による消費税の軽減税率と経営力の向上を目的に研修会を開催した。 <p>3 農場HACCP取り組み支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に推進会議を開催し、農場HACCP運用の支援を行った。 ・内部検証を2回行い、農場HACCPの運用状況の状況を確認した。 <p>4 萩原地区の補助事業を活用した規模拡大に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労務関係と農場内の役割分担、雇用状況について検討会を開催した。 ・農場内の作業マニュアルの作成支援を行った。 ・従業員研修内容の提案、資金繰り計画等について助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4戸とも約定どおり償還を行い、うち1戸が資金を完済した。 ・「軽減税率について理解が深まった」、「わかりやすく勉強になった」、「今後の経営を考える上で参考になった」との声があった。 ・HACCPの運用により、文書と現場の乖離を発見することができ、作業マニュアルの見直し、記録簿の記入の徹底につながった。 ・雇用の条件を整理し、従業員を募集し、5名が採用された。 ・マニュアルを役員内で情報共有し、作業を行いながら修正していくこととなった。 ・視察研修が4回開催された。
新規就農者や親元就農者に対する育成確保への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者8名(重点) ・就農予定者5名 ・親元就農者11名 	<p>1 就農前の対応</p> <p>(1) 新規就農者及親元就農者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山果実部に対し新規就農者確保の取り組みを組織的に進めていくことを働きかけた。 ・勇辰農園の新規就農者の確保の取り組みに対し、独立就農予定者への青年等就農計画の作成支援し、次の研修生が入植する園地 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員1名(農業部門：梨)が採用され、R2年12月から活動を開始。大山果実部から推薦されたアグリマイスター1名が研修担当に決まり、3年後の独立就農に向けた支援することになった。 ・1名がR3年1月に独立就農。

		<p>の整備計画について支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックリー部会に対し、新規就農者の優良農地の確保に係る課題を協議し、梨廃園地の再利用を提案した。 <p>(2) 就農希望者・予定者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山町主催の「就農相談会」に参加し、就農に向けた準備や活用事業、スケジュールなどを確認した。 ・独立就農予定者へは、青年等就農計画作成、就農くらしアドバイザー設置事業等の活用を支援した。 <p>(3) 親元就農促進支援交付金事業実施予定農家への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の実情に合わせ技術継承や経営移譲に向けた取り組み、家族経営協定や研修計画書の作成を支援した。 <p>2 新規就農者・親元就農者に対する育成支援（就農後）</p> <p>(1) 新規就農者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農後5年以内の認定新規就農者9名を重点対象として、技術及び経営指導を実施した。また、R1年度の年次別目標所得未達成者3名に対して定期的な検討会を開催し、経営の改善を図った。 ・複式簿記初級講習会を実施した(9回)。 <p>(2) 農業士会と連携した支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業士会と普及所が共催して就農5年以内の新規就農者を対象とした農業セミナー（トラクターの運転操作とメンテナンス、ロープワーク）を開催(1/26)し、アンケートを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者は農地賃借の際は地権者を顔を合わせて話し、畦草管理をきちんとやることが申し合わされた。 ・就農相談数：9件 ・相談後は①独自就農、②親元就農、③継続保留の方向性が示された。 ・独立就農者4名 ・相談数：3件 ・親元就農促進支援交付金事業承認1件 ・新規就農者全員が営農を継続している。 ・R2年度は目標所得達成者は12.5%とであった。要因は、越年ブロックリーの前進化による減収、栽培技術で種々（育苗、除草、病害虫防除の不徹底、作型や作付け時期が不適切等）の課題を抱えていること、簡単には改善できない理由（本人の健康面、圃場条件が悪い等）も多いこと等であった。 ・参加者6名。トラクターのメンテナンスやロープワークを理解し好評であった。アンケートでは土づくり、スマート農業、販売管理能力等に対する受講希望があり、来年度もセミナーは継続する予定。
--	--	--	--

(注) 普及活動計画書及び実績書から主なものを抜粋して記載すること。

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業種別ごとに記載すること。(例えば、経営構造対策事業に対する指導とその成果又は結果等の状を記載する。)

事業名	指導内容	成果又は結果
みんなでやらいや農業支援事業	認定農業者が経営発展・地域活性化の	3件の農家プランが新規認定された。

	ため、作成するプランについて、技術・経営上の相談に対応してプラン作成を支援するとともに、目標達成に向けて技術等を指導した。	
農作業安全・農機具盗難防止対策事業	従来の農作業安全に加えて、マスク着用による熱中症のリスクや予防方法について、指導会・研修及び巡回時に注意喚起を行った	農作業安全及び感染対策を実施しながらの熱中症予防についても理解が深まった。
鳥取発！アグリスタート研修支援事業	先進農家での本格的な研修を実施するに当たり、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構や指導農家と連携して栽培技術等を指導した。	大山町で2名が事業実施。1名(研修生：琴浦町、受入農家：大山町)は平成30年2月1日～令和1年9月30日まで研修し、令和1年10月1日に就農。1名(研修生、受入農家ともに大山町)は令和2年2月～令和3年1月まで事業実施予定。
有機・特別栽培農産物・GAP等総合支援事業	特別栽培に取り組む生産者に対し、生産技術指導や認証申請支援を行った。また、有機JAS認証の取得・維持を希望する生産者に対し、検査員として現地調査業務を行った。さらにGAP認証を取得・維持を希望する生産者に対し、審査準備等の支援を行った。	大山町で12件が特別栽培農産物に認証された。有機JAS検査員として現地調査業務を行った1件が有機農産物に認証された。大山町で新たに1件がAS1AGAP認証、1件がJGAP認証審査を受けたため、GAP認証農家は計6件となる見込み。
戦略的園芸品目(白ねぎ)総合対策事業	県全域で白ネギ栽培技術の高位平準化と反収向上を進めるため、新技術(緑肥、トンネル栽培)の実証や生産者へ情報提供を行った。	緑肥すき込みによる肥沃化や透水性の向上が確認された。 緑肥栽培については、生産部会から推進の要望がある。 トンネル栽培は一部農家が行っており、雪によるトンネルの倒壊を危惧する意見があるが、本年度は除雪を徹底し、問題なく栽培できた。
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	酪農950頭規模の新農場の建設に向けて、円滑な事業実施のための資金繰り計画、労務管理および従業員研修に向けた助言を行った。	10月に牛舎が完成し、計画どおり乳牛を導入した。 従業員も5名雇用し、従業員研修も行われた。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示園(農業改良普及活動促進事業)の設置状況調べ
(令和3年3月31日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
農業改良普及指導活	「輝太郎」における6月環状剥皮処理による後期生理落果低減効果の実証	6月上旬に環状剥離処理を行い、後期生理落下を低減させる効果を検証した。	大山町 名和	個人	10,000円	3樹	R2 5/21 ～ R3 12/9	R1 5/ R2 5/21 ～ R3 12/9	10,000円	R3 12/22
	当地の水稻「星空舞」	元肥一発肥料の異なる溶出日数の資	大山町	個人	10,000円	31.2a	R2 5/21	R2 5/21	10,000円	R3 2/10

動費	栽培に適する元肥一発肥料の検討	材を比較し検討した。	富長				~ R3 1/28	~ R3 1/28		
	大山町香取地区内(準高冷地)における9~10月どりブロッコリー栽培実証	準高冷地でのブロッコリーの栽培推進に活用するため、香取地区内の標高410mにおいて栽培実証を行った。	大山町殿河内	個人	10,000円	30a	R2 6/19 ~ R3 2/1	R2 6/19 ~ R3 2/1	10,000円	R3 2/15
	大山町香取地区内(準高冷地)における9~10月どりブロッコリー栽培実証	準高冷地でのブロッコリーの栽培推進に活用するため、香取地区内の標高560mにおいて栽培実証を行った。	大山町豊房	個人	10,000円	70a	R2 6/19 ~ R3 2/1	R2 6/19 ~ R3 2/1	10,000円	R3 2/15
	大山町香取地区内(準高冷地)における9~10月どりブロッコリー栽培実証	準高冷地でのブロッコリーの栽培推進に活用するため、香取地区内の標高640mにおいて栽培実証を行った。	大山町豊房	個人	10,000円	40a	R2 6/19 ~ R3 2/1	R2 6/19 ~ R3 2/1	10,000円	R3 2/15
	ストックの極早生系品種の施肥設計の検討	極早生系品種の茎径を確保するため増肥の効果について検討した。	大山町中池谷	個人	10,000円	282㎡	R2 7/14 ~ R3 3/16	R2 7/14 ~ R3 3/16	10,000円	R3 3/30
	ストック(アイアン系品種)のコート種子利用による八重無鑑率の向上	八重鑑別率の向上を図るためかん水方法を改良した。	大山町中池谷	個人	10,000円	282㎡	R2 7/16 ~ R3 3/16	R2 7/16 ~ R3 3/16	10,000円	R3 3/30
	ブロッコリーの電動収穫台車利用による軽労化の実証	人力収穫台車及び電動収穫台車を利用した場合の体の疲労度を数値化することで、疲労低減効果を実証した。	大山町下甲	個人	10,000円		R2 12/24 ~ R3 3/17	R2 12/24 ~ R3 3/17	10,000円	R3 3/30

- (注) (1) 「事業費」は、当該事業に要した額を記入すること。
(2) 「事業量」は、面積a、施設点数等を記入すること。
(3) 「支払額」は、展示園等を設置し、報償費で謝礼金を支払ったものを含む。